令和6年7月11日 指 導 部

令和6年度東京都教科用図書選定審議会(第3回)の答申について ~教科書調査研究資料及び令和7年度使用教科書採択(都立小学校、都立中学校、 都立中等教育学校(前期課程)及び都立特別支援学校(小学部・中学部))について~

令和6年3月28日開催の教育委員会の決定に基づき、「教科書調査研究資料及び令和7年度使用教科書採択(都立小学校、都立中学校、都立中等教育学校(前期課程)及び都立特別支援学校(小学部・中学部))」について、東京都教科用図書選定審議会に諮問したところ、令和6年7月4日付けで下記の内容の答申を得た。

記

- 1 「令和7~10年度使用都立中学校及び都立中等教育学校(前期課程)用教科書調査 研究資料」は、調査研究資料として適切であると認められる。
- 3 「令和7年度使用教科書採択について(教科書採択資料)」は、令和7年度に都立小学校、都立中学校、都立中等教育学校(前期課程)及び都立特別支援学校(小学部・中学部)で使用する教科書を採択する際の資料として適切であると認められる。
- 4 東京都教育委員会は、上記1、2及び3の資料とともに、既に答申している「令和7~ 10年度使用教科書調査研究資料(中学校)」を採択に当たっての資料とし、東京都教 育委員会の責任と権限において、適正な採択を行うこと。

#### 資料の概要について

# 1 教科書調査研究資料について

都立中学校及び都立中等教育学校(前期課程)、都立特別支援学校(中学部)において使用する教科書について、「令和7~10年度使用教科書調査研究資料(中学校)」を踏まえ、採択権者の採択に資する目的で、各教科書の特徴や違いが簡潔・明瞭に分かるよう調査研究を行い、「教科書調査研究資料」を作成した。

# (1) 令和7~10 年度使用都立中学校及び都立中等教育学校(前期課程) 用教科書調査研究資料

ア 調査研究の対象とした教科書

文部科学省作成の「中学校用教科書目録(令和7年度使用)」に登載されている全ての文部科学 省検定済教科書(10 教科、16 種目、142 冊)である。

# イ 調査研究の項目

中高一貫教育の特色を踏まえつつ、学校の特色や教科等における指導の展開に対応したものとなるよう、各学校の「基本計画検討委員会報告書」の「教育課程編成の基本方針」及び各教科における「学習指導の展開」並びに「学校経営計画」を参考に、これらと関連する事項について調査研究し、その結果を数値データとして一覧表にまとめた。

#### (2) 令和7~10年度使用都立特別支援学校(中学部)用教科書調査研究資料

ア 調査研究の対象とした教科書

上記(1)アと同じ

イ 調査研究の項目

障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる内容や、障害への配慮を要する内容について、各障害の状態や特性等を踏まえた観点を定めて調査するとともに、障害のある生徒が使用しやすい編集、表記、造本であるか等構成上の工夫について調査研究した。

#### 2 令和7年度使用教科書採択について(教科書採択資料)

今年度東京都教育委員会が採択する必要がある教科書の種類を、(1) 文部科学省検定済教科書、

- (2) 文部科学省著作教科書、(3) 学校教育法附則第9条第1項の規定による教科書(一般図書)に 区分するとともに、(1) に関しては、更に以下のとおりに分け、それぞれ採択資料を作成した。
  - ア 新規に採択する必要があるもの
    - 都立中学校及び都立中等教育学校(前期課程)用教科書
    - · 都立特別支援学校(中学部) 用教科書
  - イ 前回採択時と同一の教科書を採択する必要があるもの
    - 都立小学校用教科書
    - ·都立特別支援学校(小学部) 用教科書

#### 3 資料の取扱い

今後、東京都教育委員会は、上記の教科書調査研究資料及び教科書採択資料等を基に、都立小学校、都立中学校、都立中等教育学校(前期課程)及び都立特別支援学校(小学部・中学部)において使用することが適当と認める教科書を採択する。

資料1(抜粋版)

令和7~10年度使用

都立中学校及び都立中等教育学校(前期課程)用

# 教科書調査研究資料

令和6年7月

東京都教育委員会

# 英語

	発行者		教科書の記号・番号	判型	検定済年
番号	名称	略称	教育を はない はない はんしゅう はんしゅう かんしゅう かんしゅ かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ はない はない ない はない はない はない はない はない はない はない	総ページ数	快足货中
2	東京書籍	東 書◆	英語 002-72・002-82・002-92	A 4	
2	// / 日和	<i>→</i>	<b>采品 002 12 002 02 002 02</b>	486	
9	開隆堂出版	開隆堂◆	英語 009-72・009-82・009-92	A 4	
9	用性圣山瓜	用性至▼	央部 009-72 • 009-82 • 009-92	514	
15	三省堂	三省堂◆	英語 015-72・015-82・015-92	A 4	
10	一年		央語 015-72・015-62・015-92	532	令和6年
17	教育出版	教出◆	英語 017-72・017-82・017-92	ΑВ	11 1/11 0 +
11	教育山瓜	<b>Ж</b> Ш▼	<b>光</b> 品 011 12 011 02 011 32	546	
38	光村図書出版	¥+ <b>★</b>	英語 038-72・038-82・038-92	ΑВ	
30	几何因音叫喊	)L 11 ▼	<del>火</del> 町 000 12 - 000 02 - 000 92	582	
61	新興出版社	啓林館◆	英語 061-72・061-82・061-92	A 4	
01	啓林館		大品 001 12 - 001 02 - 001 92	490	

<sup>※「</sup>発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」(学校教育法第34条第2項に規定する教材)の 発行予定があることを示しています。

冊 数	発行者の略称
18∰	東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館

# 2 都立白鷗高等学校附属中学校の教育課程

#### 【教育課程編成の基本方針】

「開拓精神」の伝統のもと、教科横断的な探究型学習を推進して生徒の幅広い知的好奇心に応える。また、日本の伝統文化理解教育と国際理解教育を推進して自己のアイデンティティ確立とダイバーシティ(多様性)尊重の精神を養い、「競争」と「協働」ができる創造的なグローバル人材を育成する。

#### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 基礎・基本を確実に定着させるために、補助教材等も利用し、繰り返して練習する活動を十分行う。
- (2) ダイバーシティ(多様性)を尊重する態度を育成するとともに、国際社会に対応できるよう に英語のコミュニケーション能力の伸長を図るため、英語による自己表現などの活動を中学校 から積極的に行う。
- (3) 学習の成果を発表する場として「校内スピーチコンテスト」を実施したり、インターネット などを活用し、海外の機関や学校との交流を積極的に行う。これらを通じて国際社会に生きる リーダーとしてふさわしいコミュニケーション能力を育てる。

# 3 教科書の調査研究

#### 内容 (調査結果は「別紙」)

	調査研究項目(調査研究の対象)	対象の根拠	数値データの単位
a	日本の文化・伝統を扱っている教材数	台東地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 都立白鷗高等学校・附属中学 校の教育内容の充実に係る検 討委員会報告書第3章 令和5年度学校経営計画	個
b	SDGsを扱っている教材数	同上	個
С	自然・科学、環境を扱っている教材数	同上	個

- a 自国の文化・社会の理解を深め、異なる文化をもった人々とともに生きていく態度や国際 的視野を養うため、日本の文化・伝統を扱っている教材数を調査する。
- b 外国の伝統文化や世界の様々な地域の様子について知識をもち、持続可能な社会の担い手 として、広い視野から国際理解を深められる教材数を調査する。
- c 科学的・論理的に考え表現する力や、豊かな知性と感性を育むため、自然・科学、環境を 扱っている教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 白鷗高等学校附属中学校 英語

項目発行者	a 日本の文化・伝統を扱っている教材数	b SDGsを扱っている教材数	c 自然・科学、環境を扱っている教材数
東書	11	16	5
開隆堂	6	17	12
三省堂	8	10	3
教 出	8	14	7
光村	7	10	3
啓林館	9	13	8
平均値	8. 2	13. 3	6. 3

a 「日本の文化・伝統を扱っている教材数」については、日本の衣食住に関する習慣や風習、またはそれに起因する作品等に触れている教材数を数えている。

b 「SDGsを扱っている教材数」については、自分の考えや意見、調べたことなどをまとめて発表する活動の教材数を数えている。

c 「自然・科学、環境を扱っている教材数」については、科学技術テクノロジーや生物、環境保護等に触れている教材数を数えている。

冊 数	発行者の略称
18冊	東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館

# 2 都立小石川中等教育学校(前期課程)の教育課程

#### 【教育課程編成の基本方針】

生徒が広い視野と豊かな教養を身に付けることを目指し、小石川教養主義に基づき全ての教科・科目を偏りなく学ぶとともに、これを土台とした理数教育、国際理解教育、6年間を貫く探究活動、専門家による特別講演などの特色ある教育活動を通じて、自ら志を立て、自分が進む道を切り拓き、新しい文化を創り出すグローバルリーダーを育成する。

# 【英語における学習指導の展開】

- (1) 習熟度別授業や少人数授業等を実施するとともに、外国人講師の複数配置を基本とし、実践的なコミュニケーション能力の向上を図る。
- (2) 発達段階に応じて、新聞、雑誌、放送を活用し、政治、経済、文学、歴史等からテーマを 決め、プレゼンテーションやディベートを発展的に学習する。
- (3) 英語を使わなければならない状況を設定し、使える英語を体得させる。

# 3 教科書の調査研究

# 内容(調査結果は「別紙」)

調査研究項目(調査研究の対象)	対象の根拠	数値データの単位
a 海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	文京地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	個
b 自然・科学、環境を扱っている教材数	同上	個
c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数	同上	個

- a 国際的言語である英語を使って、情報を直接入手し発信できる能力とコミュニケーション 能力を養うため、海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数を調査する。
- b 科学的・論理的に考え表現する力や、豊かな知性と感性を育むため、自然・科学、環境を 扱っている教材数を調査する。
- c 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 小石川中等教育学校(前期課程) 英語

項目発行者	a 海外の機関や学校との交流活動について記述し てある教材数	b 自然・科学、環境を扱っている教材数	c ディスカッションやディベートについて記述 してある教材数
東書	9	5	3
開隆堂	1	12	4
三省堂	3	3	5
教 出	1	7	4
光村	3	3	2
啓林館	8	8	1
平均値	4. 2	6. 3	3. 2

a 「海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数」については、姉妹間交流や海外の学校等のオンラインとのやり取り等の交流活動の教 材数を数えている。

b 「自然・科学、環境を扱っている教材数」については、科学技術テクノロジーや生物、環境保護等に触れている教材数を数えている。

c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教材数を数えている。

冊 数	発 行 者 の 略 称
18∰	東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館

# 2 都立両国高等学校附属中学校の教育課程

#### 【教育課程編成の基本方針】

「自律自修」の精神に基づき、真理と正義を愛し、広く深い教養を身に付け、心身ともに健康で明朗な生徒を育成する。中高一貫教育校として、6年間の指導計画や探究活動を通じて、高い学力を身に付けさせるとともに、豊かな言語能力と望ましい職業観、高い志と世界的視野をもった人間性豊かな生徒を育成する。

# 【英語における学習指導の展開】

- (1) 英語の書籍、ニュース、インターネットを活用した海外生徒との交流など多様な教材を使用し、英語を話す面白さや楽しさを実感させる。
- (2) 英字新聞・雑誌・英語放送など多様な教材を活用し、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベート等の要素を取り入れ、リスニング・スピーキング能力の伸長を図る。これらを通じて国際社会に生きるリーダーとしてふさわしいコミュニケーション能力を育てる。
- (3) コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力などの育成のために、生徒が能動的に 学ぶ「アクティブラーニング」の推進に努める。

# 3 教科書の調査研究

#### 内容 (調査結果は「別紙」)

調査研究項目(調査研究の対象)	対象の根拠	数値データの単位
a 海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	墨田地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章	個
	令和5年度学校経営計画	
b 自然・科学、環境を扱っている教材数	同上	個
c ディスカッションやディベートについ て記述してある教材数	同上	個

- a 国際的言語である英語を使って、情報を直接入手し発信できる能力とコミュニケーション 能力を養うため、海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数を調査する。
- b 科学的・論理的に考え表現する力や、豊かな知性と感性を育むため、自然・科学、環境を 扱っている教材数を調査する。
- c 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 両国高等学校附属中学校 英語

項目発行者	a 海外の機関や学校との交流活動について記述し てある教材数	b 自然・科学、環境を扱っている教材数	c ディスカッションやディベートについて記述 してある教材数
東書	9	5	3
開隆堂	1	12	4
三省堂	3	3	5
教 出	1	7	4
光村	3	3	2
啓林館	8	8	1
平均値	4. 2	6. 3	3. 2

a 「海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数」については、姉妹間交流や海外の学校等のオンラインとのやり取り等の交流活動の教 材数を数えている。

b 「自然・科学、環境を扱っている教材数」については、科学技術テクノロジーや生物、環境保護等に触れている教材数を数えている。

c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教材数を数えている。

冊 数	発 行 者 の 略 称
18冊	東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館

# 2 都立桜修館中等教育学校(前期課程)の教育課程

#### 【教育課程編成の基本方針】

「6年間の一貫した教育活動の中で、世界の中の日本人としてのアイデンティティをもって国際社会を担う人材を育成する学校」を目指し、研究論文の作成、6年間の系統的な進路指導、国際交流事業といった教育活動を通じて、真理の探究を極め、困難な課題に主体的に取り組み、粘り強く解決できる生徒を育成する。

#### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 音声と語法の両面において英語の基礎・基本の確実な定着を図るとともに、習熟度別学習や選択教科を効果的に活用する。
- (2) 「プレゼンテーション」授業を取り入れ、学習の成果や自分の考え、意見を発表する機会を設定する。
- (3) 積極的に英語でコミュニケーションを行おうとする態度の育成を図る。そのために、できるだけ英語を用いて授業を進める。

# 3 教科書の調査研究

#### 内容 (調査結果は「別紙」)

	調査研究項目(調査研究の対象)	対象の根拠	数値データの単位
a	日本の文化・伝統を扱っている教材数	中等教育学校基本計画検討委	個
		員会報告書	
		中高一貫教育校の整備に関す	
		る検討委員会の報告書	
		目黒地区中等教育学校特色あ	
		る教育活動について	
		目黒地区中等教育学校 教育課	
		程 第1章	
		令和5年度学校経営計画	
b	SDGsを扱っている教材数	同上	個
С	ディスカッションやディベートについ	同上	個
-	て記述してある教材数		

- a 自国の文化・社会の理解を深め、異なる文化をもった人々とともに生きていく態度や国際的視野を養うため、日本の文化・伝統を扱っている教材数を調査する。
- b 外国の伝統文化や世界の様々な地域の様子について知識をもち、持続可能な社会の担い手 として、広い視野から国際理解を深め、国際社会と向き合うことについて扱っている教材数 を調査する。
- c 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 桜修館中等教育学校(前期課程) 英語

項目発行者	a 日本の文化・伝統を扱っている教材数	b SDGsを扱っている教材数	c ディスカッションやディベートについて記述 してある教材数
東書	11	16	3
開隆堂	6	17	4
三省堂	8	10	5
教 出	8	14	4
光村	7	10	2
啓林館	9	13	1
平均値	8. 2	13. 3	3. 2

a 「日本の文化・伝統を扱っている教材数」については、日本の衣食住に関する習慣や風習、またはそれに起因する作品等に触れている教材数を数えている。

b 「SDGsを扱っている教材数」については、自分の考えや意見、調べたことなどをまとめて発表する活動の教材数を数えている。

c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教 材数を数えている。

冊 数	発行者の略称
18冊	東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館

# 2 都立立川国際中等教育学校(前期課程)の教育課程

#### 【教育課程編成の基本方針】

「国際社会に貢献できるリーダーとなるために必要な学業を修め、人格を陶冶する」という教育目標を実現するために、Road to Global Citizen—Think Globally, Act Locally—を掲げ、特色あるプログラムを通じて日常から養える国際感覚と多様性をもつ生徒を育成する。

#### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 6年間を通じて「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」をバランスよく展開して、外国語の背景にある文化・社会・人間を含めた知識、多様な文化・社会をよく生きる人間としての姿勢、語学を活用する際に必要な技能を育む。
- (2) 少人数クラス、外国人講師による授業を設け、生徒自身が積極的に授業に関わる環境を整え、習熟の程度に応じたきめ細かい指導を展開する。

# 3 教科書の調査研究

# 内容 (調査結果は「別紙」)

112 (3/12)		
調査研究項目(調査研究の対象)	対象の根拠	数値データの単位
a SDGsを扱っている教材数	立川地区中高一貫6年制学校	個
	(国際中等教育学校)基本計	
	画検討委員会報告書 第3章	
	令和5年度学校経営計画	
b 海外の機関や学校との交流活動につい	同上	個
て記述してある教材数		
c ディスカッションやディベートについ	同上	個
て記述してある教材数		

- a 外国の伝統文化や世界の様々な地域の様子について知識をもち、持続可能な社会の担い手 として、広い視野から国際理解を深められる教材数を調査する。
- b 国際的言語である英語を使って、情報を直接入手し発信できる能力とコミュニケーション 能力を養うため、海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数を調査する。
- c 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 立川国際中等教育学校(前期課程) 英語

項目発行者	a SDGsを扱っている教材数	b 海外の機関や学校との交流活動について記述し てある教材数	c ディスカッションやディベートについて記述 してある教材数
東書	16	9	3
開隆堂	17	1	4
三省堂	10	3	5
教 出	14	1	4
光村	10	3	2
啓林館	13	8	1
平均値	13. 3	4. 2	3. 2

- a 「SDGsを扱っている教材数」については、自分の考えや意見、調べたことなどをまとめて発表する活動の教材数を数えている。
- b 「海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数」については、姉妹間交流や海外の学校等のオンラインとのやり取り等の交流活動の教 材数を数えている。
- c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教材数を数えている。

冊 数	発 行 者 の 略 称
18∰	東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館

# 2 都立武蔵高等学校附属中学校の教育課程

#### 【教育課程編成の基本方針】

「向上進取の精神」のもと、地球規模の課題を「自分ごと化」していく武蔵独自の探究活動である「地球学」を軸とし、中高6年間の一貫性を持った体系的なキャリア教育を通して、豊かな知性と感性を育て、健康な心と体を養い、一人一人の高い進路目標を確立し、実現することで、「国際社会に貢献する知性豊かなリーダー」を育成する。

#### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 外国人英語等教育補助員 (ALT) を複数配置することや、コンピュータ利用の学習システム (CAI) などの活用を図り、英語への興味付けをしつつ、学習の基礎・基本を定着させる。
- (2) 英語の書籍、ニュース、インターネットを活用し、海外での語学研修など多様な学習の機会を設定し、基礎的・定型的な日常会話の習得を目指すとともに、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育成する。
- (3) 暗唱した英語などを発表するレシテーションコンテストやスピーチコンテストなどを開催することにより、音声面の大切さを認識させ、同時にプレゼンテーション能力の伸長を図る。

# 3 教科書の調査研究

#### 内容(調査結果は「別紙」)

調査研究項目(調査研究の対象)	対象の根拠	数値データの単位
a SDGsを扱っている教材数	武蔵野地区中高一貫6年制学校基本計画検討委員会報告書第3章 令和5年度学校経営計画	個
b 海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	同上	個
c ディスカッションやディベートについ て記述してある教材数	同上	個

- a 外国の伝統文化や世界の様々な地域の様子について知識をもち、持続可能な社会の担い手 として、広い視野から国際理解を深められる教材数を調査する。
- b 国際的言語である英語を使って、情報を直接入手し発信できる能力とコミュニケーション 能力を養うため、海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数を調査する。
- c 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 武蔵高等学校附属中学校 英語

項目	a SDGsを扱っている教材数	b 海外の機関や学校との交流活動について記述 してある教材数	c ディスカッションやディベートについて記述 してある教材数
発行者			
東書	16	9	3
開隆堂	17	1	4
三省堂	10	3	5
教 出	14	1	4
光村	10	3	2
啓林館	13	8	1
平均値	13. 3	4. 2	3. 2

- a 「SDGsを扱っている教材数」については、自分の考えや意見、調べたことなどをまとめて発表する活動の教材数を数えている。
- b 「海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数」については、姉妹間交流や海外の学校等のオンラインとのやり取り等の交流活動の教 材数を数えている。
- c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教材数を数えている。

冊 数	発行者の略称
18冊	東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館

# 2 都立富士高等学校附属中学校の教育課程

#### 【教育課程編成の基本方針】

「教養、調和、挑戦」を目標とし、自主自律、文武両道の精神の下、6年間一気通貫した探究活動を中心とした教育活動を通じて理数的課題発見力・解決力を育成するとともに、新しい価値観と既存の価値観を調和させ、社会の課題を解決するために自己の限界に挑戦できる人間を育成する。

# 【英語における学習指導の展開】

- (1) 将来国際社会で幅広く活躍する知性と品性を兼ね備えた人物の育成を目指し、教育活動を 展開する。
- (2) 基礎的な文法や語彙を確実に定着させることを目標とする。
- (3) 実践的なコミュニケーション活動を行うために日常的にスピーチなど発表の機会を積極的に設け、話したり聞いたりすることを身近なものにさせる。

#### 3 教科書の調査研究

内容 (調査結果は「別紙」)

調査研究項目(調査研究の対象)	対象の根拠	数値データの単位
a 海外の機関や学校との交流活動につい		個
て記述してある教材数	基本計画検討委員会報告書	
	第3章	
b 自然・科学、環境を扱っている教材数	令和5年度学校経営計画	/FI
b   自然・科学、環境を扱っている教材数	同上	個
c ディスカッションやディベートについ	同上	個
て記述してある教材数		

- a 国際的言語である英語を使って、情報を直接入手し発信できる能力とコミュニケーション 能力を養うため、海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数を調査する。
- b 科学的・論理的に考え表現する力や、豊かな知性と感性を育むため、自然・科学、環境を 扱っている教材数を調査する。
- c 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 富士高等学校附属中学校 英語

項目発行者	a 海外の機関や学校との交流活動について記述し てある教材数	b 自然・科学、環境を扱っている教材数	c ディスカッションやディベートについて記述 してある教材数
東書	9	5	3
開隆堂	1	12	4
三省堂	3	3	5
教 出	1	7	4
光村	3	3	2
啓林館	8	8	1
平均値	4. 2	6. 3	3. 2

a 「海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数」については、姉妹間交流や海外の学校等のオンラインとのやり取り等の交流活動の教 材数を数えている。

b 「自然・科学、環境を扱っている教材数」については、科学技術テクノロジーや生物、環境保護等に触れている教材数を数えている。

c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教材数を数えている。

冊 数	発 行 者 の 略 称
18∰	東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館

# 2 都立大泉高等学校附属中学校の教育課程

#### 【教育課程編成の基本方針】

「自主・自律・創造」を教育目標に、6年間の系統性とゆとりある中高一貫教育の中で、物事の真理を深く考え、筋道を立てて明らかにする探究活動等を通して、夢の発見と実現に向けたきめ細かな教育の実践により、国際社会で活躍する多様な人間力を育成する。

#### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 外国語である英語を学ぶことを通して、異文化に対する理解を深める。
- (2) 我が国の歴史・文化・社会を理解し尊重する態度を育てる。
- (3) 英語という国際的言語を使って情報を直接入手したり、情報を発信できる能力と国際的な 視野を備えたコミュニケーション能力を養う。

# 3 教科書の調査研究

#### 内容 (調査結果は「別紙」)

調査研究項目(調査研究の対象)	対象の根拠	数値データの単位
a 日本の文化・伝統を扱っている教材数	練馬地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	個
b 海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	同上	個
c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数	同上	個

- a 自国の文化・社会の理解を深め、異なる文化をもった人々とともに生きていく態度や国際 的視野を養うため、日本の文化・伝統を扱っている教材数を調査する。
- b 国際的言語である英語を使って、情報を直接入手し発信できる能力とコミュニケーション 能力を養うため、海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数を調査する。
- c 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 大泉高等学校附属中学校 英語

項目発行者	a 日本の文化・伝統を扱っている教材数	b 海外の機関や学校との交流活動について記述 してある教材数	c ディスカッションやディベートについて記述 してある教材数	
東書	11	9	3	
開隆堂	6	1	4	
三省堂	8	3	5	
教 出	8	1	4	
光村	7	3	2	
啓林館	9	8	1	
平均値	8. 2	4. 2	3. 2	

a 「日本の文化・伝統を扱っている教材数」については、日本の衣食住に関する習慣や風習、またはそれに起因する作品等に触れている教材数を数えている。

b 「海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数」については、姉妹間交流や海外の学校等のオンラインとのやり取り等の交流活動の教 材数を数えている。

c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教 材数を数えている。

冊 数	発行者の略称
18冊	東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館

# 2 都立南多摩中等教育学校(前期課程)の教育課程

#### 【教育課程編成の基本方針】

心・知・体のバランスのとれた生徒を育てるため教養教育を推進し、学力・突破力・協働力・探究力の育成を図り人間力を育む。フィールドワーク等特色ある教育活動により、6年間を通して"確かな学力"を身に付けさせる。新たな価値を創造し、主体性をもって国際社会の様々な分野で活躍できるリーダーを育成する。

# 【英語における学習指導の展開】

- (1) 習熟度に応じた少人数授業を実施し、きめ細かい指導を行うとともに基礎・基本の定着を 図る。「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能を、6年間を見通して 体系的に学習し、バランスのとれた英語力を育成する。
- (2) 外国語英語等補助員(ALT)を活用して、音声指導を重視したリスニング能力、コミュニケーション能力を養う。
- (3) ライティング等を通して、コミュニケーション能力に必要な文法力も共に定着させる。

# 3 教科書の調査研究

# 内容 (調査結果は「別紙」)

(7/4222/14/2)		
調査研究項目(調査研究の対象)	対象の根拠	数値データの単位
a SDGsを扱っている教材数	八王子地区中高一貫6年制学校基本計画検討委員会報告書第3章 令和5年度学校経営計画	個
b 海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	同上	個
c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数	同上	個

- a 外国の伝統文化や世界の様々な地域の様子について知識をもち、持続可能な社会の担い手 として、広い視野から国際理解を深められる教材数を調査する。
- b 国際的言語である英語を使って、情報を直接入手し発信できる能力とコミュニケーション 能力を養うため、海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数を調査する。
- c 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 南多摩中等教育学校(前期課程) 英語

項目発行者	a SDGsを扱っている教材数	b 海外の機関や学校との交流活動について記述 してある教材数	c ディスカッションやディベートについて記述 してある教材数
東書	16	9	3
開隆堂	17	1	4
三省堂	10	3	5
教出	14	1	4
光村	10	3	2
啓林館	13	8	1
平均値	13. 3	4. 2	3. 2

- a 「SDGsを扱っている教材数」については、自分の考えや意見、調べたことなどをまとめて発表する活動の教材数を数えている。
- b 「海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数」については、姉妹間交流や海外の学校等のオンラインとのやり取り等の交流活動の教 材数を数えている。
- c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教 材数を数えている。

冊 数	発行者の略称
18冊	東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館

# 2 都立三鷹中等教育学校(前期課程)の教育課程

#### 【教育課程編成の基本方針】

思いやりの心を持った社会的なリーダーの育成を目標に、互いの基本的人権を尊重し、豊かな人間性と高い見識、幅広い視野を培い、自立と共生の精神を養う。6年間の体系的な教育課程、発達段階に応じた体験的な学習、異年齢集団による特別活動や地域連携、国際理解教育といった教育活動を通じて、世界にはばたく社会的リーダーを育成する。

# 【英語における学習指導の展開】

- (1) 6年間を通じて「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」を生徒の精神の発達 段階に応じてバランスよく配置する。英語の実践的コミュニケーション能力の育成のみなら ず、外国語の背景にある言語や文化・社会を理解し、自己形成の一助としての外国語の学習 を目指す。
- (2) 暗唱した英語などを発表するレシテーションコンテスト等を適時開催し、バランスのとれた英語能力の伸長の一助とする。
- (3) 英語への興味付け、基礎の語彙・定型表現の定着を図る。また、生涯学習の観点からも、 予習・復習のほかにリスニング、リーディング等の家庭学習の充実を促す。また、外国人英 語等教育補助員(ALT)を配置したり、コンピュータ利用の学習システム(CAI)の活 用を通して、実践的な英語に触れる機会を多く提供する。

#### 3 教科書の調査研究

#### 内容 (調査結果は「別紙」)

1. 3			
	調査研究項目(調査研究の対象)	対象の根拠	数値データの単位
а	日本の文化・伝統を扱っている教材数	三鷹地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	個
b	SDGsを扱っている教材数	同上	個
С	海外の機関や学校との交流活動につい て記述してある教材数	同上	個

- a 自国の文化・社会の理解を深め、異なる文化をもった人々とともに生きていく態度や国際 的視野を養うため、日本の文化・伝統を扱っている教材数を調査する。
- b 外国の伝統文化や世界の様々な地域の様子について知識をもち、持続可能な社会の担い手 として、広い視野から国際理解を深められる教材数を調査する。
- c 国際的言語である英語を使って、情報を直接入手し発信できる能力とコミュニケーション 能力を養うため、海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 三鷹中等教育学校(前期課程) 英語

項目発行者	a 日本の文化・伝統を扱っている教材数	b SDGsを扱っている教材数	c 海外の機関や学校との交流活動について記述し てある教材数
東書	11	16	9
開隆堂	6	17	1
三省堂	8	10	3
教 出	8	14	1
光村	7	10	3
啓林館	9	13	8
平均値	8. 2	13. 3	4. 2

a 「日本の文化・伝統を扱っている教材数」については、日本の衣食住に関する習慣や風習、またはそれに起因する作品等に触れている教材数を数えている。

b 「SDGsを扱っている教材数」については、自分の考えや意見、調べたことなどをまとめて発表する活動の教材数を数えている。

c 「海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数」については、姉妹間交流や海外の学校等のオンラインとのやり取り等の交流活動の教材数を数えている。

#### 「別紙」【(2)構成上の工夫】 英語

#### ア デジタル教科書の扱い

発行者	取り上げられた単元名(学年)	a 拡大機能	b 音声機能 ※1	c 動画機能 ※2	d 書き込み機能	e 保存機能	備考
東書	Unit 2 What is local food?	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ※3 ・読み上げ機能有 ※4 ・デジタル用例辞典収録
開隆堂	PROGRAM 3 Taste of Culture	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有
三省堂	Lesson 5 Visiting Australia	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有 ・辞書機能有
教 出	Lesson 3 Design Makes Change	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有 ・録音・再生機能有 ※5
光村	Unit 7 Working Together	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有 ・録音・再生機能有
啓林館	Unit 2 Festivals in the World	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有

- ※1 「b 音声機能」では、教科書の本文や活動例、歌やチャンツ等の音声を聞くことが可能かを調査している。
- ※2 「c 動画機能」では、活動例や学習の参考となる情報を、アニメーションや実写映像等で視聴することが可能かを調査している。
- ※3 「単語・文の個別再生機能」とは、教科書に記載されている英語の単語や文を個別に選択(タッチ)すると、その単語・文のみを再生する機能である。
- ※4 「読み上げ機能」とは、教科書に記載されている文章(日本語、英語を含む。)を、音声で読み上げる機能のことである。
- ※5 「録音・再生機能」とは、児童が自分の音声を録音・再生することができる機能のことである。

資料2 (抜粋版)

令和7~10年度使用

# 都立特別支援学校(中学部)用教科書調査研究資料

(文部科学省検定済教科書)

令和6年7月

東京都教育委員会

# 英 語

	発行者		教科書の記号・番号		判型	検定済年
番号	名称	略称		次付員が配り 田り	総ページ数	换定货中
2	東京書籍	東書◆	英語	$\begin{array}{c} 0 \ 0 \ 2 - 7 \ 2 \\ 0 \ 0 \ 2 - 8 \ 2 \\ 0 \ 0 \ 2 - 9 \ 2 \end{array}$	A 4 486	
9	開隆堂出版	開隆堂 ◆	英語	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	A 4 514	
15	三省堂	三省堂 ◆	英語	$\begin{array}{c} 0\ 1\ 5-7\ 2 \\ 0\ 1\ 5-8\ 2 \\ 0\ 1\ 5-9\ 2 \end{array}$	A 4 532	令和6年
17	教育出版	教出◆	英語	$\begin{array}{c} 0 \ 1 \ 7 - 7 \ 2 \\ 0 \ 1 \ 7 - 8 \ 2 \\ 0 \ 1 \ 7 - 9 \ 2 \end{array}$	A B 546	77 71 0 4-
38	光村図書出版	光 村 ◆	英語	038-72 038-82 038-92	A B 582	
61	新興出版社啓林館	啓林館 ◆	英語	0 6 1 - 7 2 0 6 1 - 8 2 0 6 1 - 9 2	A 4 490	

<sup>※「</sup>発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」(学校教育法第34条第2項に規定する教材)の発行予定があることを示しています。

	校種	聴覚障害特別支援学校	肢体不自由・病弱特別支援学校
観点	生徒の実態	・両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル 以上で、補聴器等の使用によっても通常の 話声を解することが不可能又は著しく困難 な程度である。	・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、 筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困 難な程度である。 ・慢性の疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を 必要とする程度である。
内容の取	1 障害のある生徒が興味・関心を もって取り組むことができる単元等 について	①視覚的な方法等を活用して、作業や体験 等の学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解に関わる記述があるも の。	①生活に結び付く身近な内容など、生徒がイメージし やすい題材を取り上げているもの。 ②肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの。
扱い等	2 障害への配慮を要する内容等に ついて	習活動に困難が想定されるもの。	①運動制限や上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。 ②発音練習等の、音声の違いを的確に表現する活動があり、学習時に配慮が必要となるもの。
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他	を写真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②聴覚の障害による読解への配慮として、	①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②体験の不足を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明されているもの。

#### 中学部 英語(聴覚障害特別支援学校)

_		教科書発行者		東書	開隆堂	三省堂
	各学年で扱われている主	第1学年	-	11	11	8
	各字中で扱われている主 な単元の数	第2学年		8	8	10
		第3学年	haber a SSA fee	7	7	8
	ļ	89/- L	第1学年	25	59	62
		聞くこと	第2学年 第3学年	17	60 52	59 55
			第3子年 第1学年	32	35	33
		読むこと	第2学年	48	36	35
		biocc	第3学年	36	35	32
			第1学年	35	38	35
	エののなけのことは中の	話すこと[やり取り]	第2学年	31	32	19
	五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動		第3学年	24	36	21
	及び複数の領域を統合し		第1学年	9	7	14
	た活動の数	話すこと[発表]	第2学年	21	9	13
			第3学年	19	6	11
			第1学年	32	33	32
		書くこと	第2学年	22	30	29
			第3学年	19	31	23
			第1学年	3	3	3
		複数の領域を統合したもの	第2学年	3	3	3
	h # h!=! ! : = :		第3学年	3	3	3
	各学年で扱われている主 な文、文構造、文法事項	第1学年		12	11	12
	の数※調査項目は32項	第2学年		13	12	135
	目	第3学年		7	9	65
	H72 +17.1 √ ≘∓ 坐∟	第1学年		992	1004	146
	取扱い語数	第2学年		431	729	658
		第3字年		363	616	440
	発展的な内容を取り上げ	第2学年		2	0	0
	ている箇所数	第3学年		1	0	1
	聴覚障害のある生徒が興	  味・関心をもって取り組むこと	ができる単元等	27箇所	39箇所	19箇所
	②聴覚障害の理解に関わ	SEEEN BY OV.		している。(P57) ②該当なし	②3年「Sign Languages, Not Just Gestures!」では、日本 とアメリカの手話について記 述している。(P55-62)	②該当なし
内容	聴覚障害への配慮を要す ①音声を聞き分けて答える		<b>内容等について</b> 動があり、学習活動に困難が想定されるも		67箇所	76箇所
	の電話やインタビュー等					30553303++\3
	が必要であるもの。	会話が主体となる活動があり、	学習の際に配慮		う」では、ラジオのインタ ビュー番組を聞き、設問に 答える活動があり、取り扱う 際には配慮が必要である。 (P122)	では、観光バス車内のアウンスから必要な情報を き取る活動があり、取り扱
		会話が主体となる活動があり、	学習の際に配慮	組を聞いて内容を聞き取り、 設問に答える活動があり、 取り扱う際には配慮が必要 である。(P85) ②1年「An Online Tour of the U.K.Jでは、ペアになった 相手に電話で状況を尋ねる	ビュー番組を聞き、設問に 答える活動があり、取り扱う 際には配慮が必要である。 (P122) ②2年「電話をかけよう」で は、ペアになった相手に、電	では、観光バス車内のアウンスから必要な情報を形き取る活動があり、取り扱際には配慮が必要である (P53) ②3年「電話でのお誘い」は、ペアになった相手に、話でコンサートに誘う活動
	が必要であるもの。	会話が主体となる活動があり、	学習の際に配慮	組を聞いて内容を聞き取り、 設問に答える活動があり、 取り扱う際には配慮が必要 である。(P85) ②1年「An Online Tour of the U.K.」では、ペアになった 相手に電話で状況を尋ねる 活動があり、取り扱う際には	ビュー番組を聞き、設問に答える活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P122) ②2年「電話をかけよう」では、ペアになった相手に、電話で情報を伝える活動があり、取り扱う際には配慮が必	では、観光バス車内のアウンスから必要な情報を指き取る活動があり、取り扱際には配慮が必要である。(P53) ②3年「電話でのお誘い」」は、ペアになった相手に、話でコンサートに誘う活動あり、取り扱う際には配慮
		会話が主体となる活動があり、	学習の際に配慮	組を聞いて内容を聞き取り、 設問に答える活動があり、 取り扱う際には配慮が必要 である。(P85) ②1年「An Online Tour of the U.K.Jでは、ペアになった 相手に電話で状況を尋ねる 活動があり、取り扱う際には 配慮が必要である。(P83)	ビュー番組を聞き、設問に答える活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P122) ②2年「電話をかけよう」では、ペアになった相手に、電話で情報を伝える活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P50)	では、観光バス車内のアウンスから必要な情報を得き取る活動があり、取り扱際には配慮が必要である (P53) ②3年「電話でのお誘い」は、ペアになった相手に、話でコンサートに誘う活動あり、取り扱う際には配慮必要である。(P14)
	が必要であるもの。	会話が主体となる活動があり、	学習の際に配慮	組を聞いて内容を聞き取り、 設問に答える活動があり、 取り扱う際には配慮が必要 である。(P85) ②1年「An Online Tour of the U.K.」では、ペアになった 相手に電話で状況を尋ねる 活動があり、取り扱う際には 配慮が必要である。(P83)	ビュー番組を聞き、設問に答える活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P122) ②2年「電話をかけよう」では、ペアになった相手に、電話で情報を伝える活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P50)	では、観光バス車内のア・ウンスから必要な情報を得き取る活動があり、取り振いのである (P53) ②3年「電話でのお誘い」」は、ペアになった相手に、話でコンサートに誘う活動あり、取り扱う際には配慮必要である。(P14) 1年 最初 14ポイント 3年 最後 14ポイント
	が必要であるもの。		学習の際に配慮	組を聞いて内容を聞き取り、 取り扱う際には配慮が必要 である。(P85) ②1年「An Online Tour of the U.K.Jでは、ペアになった 相手に電話で状況を尋ねる 活動があり、取り扱う際には 配慮が必要である。(P83) 1年 最初 18ポイント 3年 最後 11ポイント 1年 最初 42文字×7行	ビュー番組を聞き、設問に答える活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P122) ②2年「電話をかけよう」では、ペアになった相手に、電話で情報を伝える活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P50)  1年 最初 18ポイント 3年 最後 14ポイント 1年 最初 35文字×9行	では、観光バス車内のアーウンスから必要な情報を指 き取る活動があり、取び (P53) ②3年「電話でのお誘い」 は、ペアになった相手に、話でコンサートに誘う活動 め要である。(P14) 1年 最初 14ポイント 3年 最後 14ポイント 1年 最初 37文字×5行
	が必要であるもの。		学習の際に配慮	組を聞いて内容を聞き取り、 取り扱う際には配慮が必要 である。(P85) ②1年「An Online Tour of the U.K.」では、ペアになった 相手に電話で状況を尋ねる 活動があり、取り扱う際には 配慮が必要である。(P83) 1年 最初 18ポイント 3年 最後 11ポイント 1年 最初 42文字×7行 3年 最初 43文字×18行	ビュー番組を聞き、設問に答える活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P122) (P122) (22年「電話をかけよう」では、ペアになった相手に、電話で情報を伝える活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P50) 1年 最初 18ポイント 3年 最後 14ポイント 1年 最初 35文字×9行 3年 最初 46文字×14行	②3年「電話でのお誘い」」は、ペアになった相手に、話でコンサートに誘う活動あり、取り扱う際には配慮必要である。(P14)  1年 最初 14ポイント 3年 最後 14ポイント 1年 最初 37文字×5行 3年 最初 44文字×17行
	が必要であるもの。		学習の際に配慮	組を聞いて内容を聞き取り、 設問に答える活動があり、 取り扱う際には配慮が必要 である。(P85) ②1年「An Online Tour of the UK」では、ペアになった 相手に電話で状況を尋ねる 活動があり、取り扱う際にに 配慮が必要である。(P83) 1年 最初 18ポイント 3年 最後 11ポイント 1年 最初 42文字×7行 3年 最初 43文字×18行 1年 7.5ポイント	ビュー番組を聞き、設問に答える活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P122) ②2年「電話をかけよう」では、ペアになった相手に、電話で情報を伝える活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P50)  1年 最初 18ポイント 3年 最後 14ポイント 1年 最初 35文字×9行 3年 最初 46文字×14行 1年 10.5ポイント	では、観光バス車内のアウンスから必要な情報を提き取る活動があり、取り扱際には配慮が必要である。(P53) ②3年「電話でのお誘い」では、ペアになった相手に、話でコンサートに誘う活動あり、取り扱う際には配慮必要である。(P14)  1年 最初 14ポイント 1年 最初 37文字×5行3年 最初 44文字×17行1年 7.5ポイント
<b>一</b>	が必要であるもの。 本文の文字の大きさ 1ページの基本的な文字奏 欄外の文字の大きさ		学習の際に配慮	組を聞いて内容を聞き取り、 取り扱う際には配慮が必要 である。(P85) ②1年「An Online Tour of the U.K.」では、ペアになった 相手に電話で状況を尋ねる 活動があり、取り扱う際には 配慮が必要である。(P83) 1年 最初 18ポイント 3年 最後 11ポイント 1年 最初 42文字×7行 3年 最初 43文字×18行	ビュー番組を聞き、設問に答える活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P122) (P122) (22年「電話をかけよう」では、ペアになった相手に、電話で情報を伝える活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P50) 1年 最初 18ポイント 3年 最後 14ポイント 1年 最初 35文字×9行 3年 最初 46文字×14行	では、観光バス車内のア- ウンスから必要な情報を得 き取る活動があり、取り扱際には配慮が必要である (P53) ②3年「電話でのお誘い」」 は、ベアになった相手に、話でコンサートに誘う活動 あり、取り扱う際には配慮 必要である。(P14) 1年 最初 14ポイント 3年 最後 14ポイント 1年 最初 37文字×5行 3年 最初 44文字×17行
成上のエ	が必要であるもの。 本文の文字の大きさ 1ページの基本的な文字数 欄外の文字の大きさ ふりがな 障害の状態に応じた事項 ①聴覚の障害を補えるよう明しているもの。	文 <b>、その他</b> うに、概要や手順を写真、図表 <sup>会</sup> への配慮として、学習のポイント	等で視覚的に説	組を聞いて内容を聞き取り、 設問に答える活動があり、 取り扱う際には配慮が必要である。(P85) ②1年「An Online Tour of the U.K.Jでは、ペアになった相手に電話で状況を尋ねる活動があり、取り扱う際にに配慮が必要である。(P83)  1年最初42文字×7行3年最初43文字×18行1年7.5ポイント3年最初43文字×18行1年7.5ポイントま習得及び難読漢字 ①2年「History of Clocks」では、時代とともに進化してき時代とともに進化してきい時代とともに進化してきいまり、	ビュー番組を聞き、設問に答える活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P122) ②2年「電話をかけよう」では、ペアになった相手に、電話で情報を伝える活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P50)  1年 最初 18ポイント 3年 最後 14ポイント 1年 最初 35文字×9行 3年 最初 46文字×14行 1年 10.5ポイント	では、観光バス車内のア・ウンスから必要な情報を指 き取る活動があり、取り扱際には配慮が必要である (P53) ②3年「電話でのお誘い」 は、ペアになったも誘う活動 あり、取り扱う際には配慮 必要である。(P14) 1年 最初 14ポイント 3年 最初 37文字×5行 3年 最初 44文字×175 1年 7.5ポイント 来習得及び難読漢字 ①2年[Lang調の種類と使し 方を、イラストを用いた図 方を、イラストを用いた図
上の	が必要であるもの。  本文の文字の大きさ  1ページの基本的な文字数  欄外の文字の大きさ  ふりがな <b>障害の状態に応じた事項</b> ①聴覚の障害を補えるよう明しているもの。 ②聴覚の障害による読解	文 <b>、その他</b> うに、概要や手順を写真、図表 <sup>会</sup> への配慮として、学習のポイント	等で視覚的に説	組を聞いて内容を聞き取り、 設問に答える活動があり、 である。(P85) ②1年「An Online Tour of the UK」では、ペアになった 相手に電話で状況を尋ねる活動があり、取り扱う際には 配慮が必要である。(P83)  1年 最初 18ポイント 3年 最初 42文字×7行 3年 最初 42文字×7行 3年 最初 43文字×18行 1年 7.5ポイント 来習得及び難読漢字 ①2年「History of Clocks」では、時代とともに進化してきた時間の計測方法を、イラストや写真により視覚的に 説明している。(P44-47) ②パートごとに、表現や文法のポイントを背景に色を	ビュー番組を聞き、設問に答える活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P122) ②2年「電話をかけよう」では、ペアになった相手に、話で情報を伝える活動があ要である。(P50)  1年 最初 18ポイント 3年 最初 18ポイント 3年 最初 35文字×9行 3年 最初 46文字×14行 1年 10.5ポイント 来習得及び難読漢字  ②2年「Apollo 13」では、ア発生した個所を、解説を添えたイラストにより、視覚的に	では、観光バス車内のア・ウンスから必要な情報を提際には配慮が必要である(P53) ②3年「電話でのお誘い」」は、ペアになった相等活動があり、取り扱う際には配慮必要である。(P14)  1年 最初 14ポイント 3年 最初 37文字×5行3年 最初 44文字×17行1年 最初 37文字×5行3年 最初 44文字×17行1年 最初 37文字×5行3年 最初 44文字×17行1年 最初 37文字×5行3年 最初 44文字×17行1年 最初 44文字字字字字字字字字字字字字字字字字字字字字字字字字字字字字字字字字字字
成上の工夫	が必要であるもの。  本文の文字の大きさ  1ページの基本的な文字数  欄外の文字の大きさ  ふりがな <b>障害の状態に応じた事項</b> ①聴覚の障害を補えるよう明しているもの。 ②聴覚の障害による読解	文 <b>、その他</b> うに、概要や手順を写真、図表 <sup>会</sup> への配慮として、学習のポイント	等で視覚的に説	組を聞いて内容を聞き取り、 取り扱う際には配慮が必要である。(P85) ②1年「An Online Tour of the U.K.」では、ペアになった相手に電話で状況を尋ねる活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P83)  1年 最初 18ポイント 3年 最初 42文字×7行 3年 最初 43文字×18行 1年 7.5ポイント 素習得及び難読漢字 ①2年「History of Clocks」では、時代とともに進化してきた時間の計測方法を、イラストや写真により視覚的に説明している。(P44-47) ②パートごとに、表現や文法のポイントを背景に色を着けて記している。(14年)	ビュー番組を聞き、設問に答える活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P122) ②2年「電話をかけよう」では、ペアになった相手に、電話で情報を伝える活動があまり、取り扱う際には配慮が必要である。(P50)  1年 最初 18ポイント 3年 最初 18ポイント 1年 最初 35文字×9行 3年 最初 46文字×14行 1年 10.5ポイント ま習得及び難読漢字 「①2年「Apollo 13」では、アポロ13号の構造や事故が発生した個所を、解説を添えたイラストにより、視覚的に説明している。(P125) ②各章の冒頭に、学習課題を背景に色を着けて記して	では、観光バス車内のア-ウンスから必要な情報を提際には配慮が必要である(P53) ②3年「電話でのお話い」」は、ペアになったは話でのかり、取り扱う際には配慮が必要である。(P14)  1年最初37文字×5行3年最初44ペント 1年最初37文字×17行1年最初44ペント 3年最初44ペント 3年8月20日に記録の種類と関いた。(P96)

#### 中学部 英語(聴覚障害特別支援学校)

·1·-3	中部 英語(聴覚障害特別支			<u> </u>	T	
		教科書発行者		教出	光村	啓林館
	各学年で扱われている主	第1学年		8	9	11
	な単元の数	第2学年		10	8	8
		第3学年		8	8	6
			第1学年	43	71	73
		聞くこと	第2学年	40	63	74
			第3学年	26	59	55
		<u>.</u>	第1学年	42	32	22
		読むこと	第2学年	59	34	44
			第3学年	61	32	37
			第1学年	35	40	55
	五つの領域のうち特定の	話すこと[やり取り]	第2学年	31	40	44
	領域に焦点を当てた活動		第3学年	19	29	33
	及び複数の領域を統合し た活動の数		第1学年	11	22	6
	7270335735	話すこと[発表]	第2学年	15	15	10
			第3学年	19	17	11
		<b></b>	第1学年	12	30	37
		書くこと	第2学年	14	30	44
			第3学年	10	26	28
		15-11/2 - AT LINE (	第1学年	3	3	13
		複数の領域を統合したもの	第2学年	3	3	11
	各学年で扱われている主	hehr , 224 t-	第3学年	3	3	8
	な文、文構造、文法事項	第1学年		145	13	14
	の数※調査項目は32項	第2学年		125	11	11 7
	目	第3学年		5 1110	8 1038	1134
	Fro tでは、 √言五 米h	第2学年				
	取扱い語数	第2字年		577 498	727 702	868 659
		第1学年		0	0	0
	発展的な内容を取り上げ	第2学年		0	0	0
	ている箇所数	第3学年		0	0	13
	聴覚障害のある生徒が興	味・関心をもって取り組むこと	ができる単元等	33箇所	27箇所	15箇所
内容	聴覚障害への配慮を要す	②聴覚障害の理解に関わる記述があるもの。			ンラインツアーの案内を読み、参加したいツアーを友達と考える活動を示している。(P88-89) ②2年「You Can Do It!」では、手話も国や地域によって異なることについて記述している。(P87)	は、英文を書く上でのコツと して、伝えたい内容を図に 書き出す活動を示している。 (P76) ②該当なし
	①音声を聞き分けて答える活動があり、学習活動に困難が想定されの。 ②電話やインタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際が必要であるもの。			①1年「School Life in Two Countries」では、絵の中に あるものの名前を聞き取る 活動があり、取り扱う際には 配慮が必要である。(P83) ②3年「Useful Expressions ①」では、ペアになった相手を・電話で映画に誘う活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P22)	スから必要な情報を聞き取る活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。 (P40) ②3年「Our School Trip」では、ペアになった相手からの誘いの電話を断る活動が	①2年「Preparing for Natural Disasters」では、ラジオ番組から防災バックに入れる物を聞き取る活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P57) ②1年「お願い」では、ペアになった相手に、電話で宿題の手伝いを依頼する活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P121)
	本文の文字の大きさ			1年 最初 16ポイント	1年 最初 17ポイント	1年 最初 14ポイント
				3年 最後 12ポイント	3年 最後 15ポイント	3年最後 12ポイント
	1ページの基本的な文字数	·		1年 最初 49文字×11行 3年 最初 51文字×12行	1年 最初 28文字×11行 3年 最初 46文字×12行	1年 最初 37文字×7行 3年 最初 42文字×19行
				1年 8ポイント	1年 10.5ポイント	1年 7.5ポイント
	欄外の文字の大きさ					
構	~ 11484~			3年 8ポイント	3年 10.5ポイント	3年 8ポイント
	①聴覚の障害を補えるよう 明しているもの。 ②聴覚の障害による読解・	音の状態に応じた事項、その他 聴覚の障害を補えるように、概要や手順を写真、図表等で視覚的に説		未習得及び難読漢字 ①2年「Six Amazing Things about Penguins」では、ペン ギンの身体の構造などを写 真や図により、視覚的に説 明している。(P47-49)	未習得及び難読漢字 ①1年「Active Grammar 1」 では、肯定文、疑問文など における主語、動詞、助動 詞の語順を、色分けして視 覚的に説明している。(P56- 57)	未習得及び難読漢字 ①2年「道案内」では、位置を表す表現を、例文ととも に、色分けたと図で視覚的 に説明している。(P61) ②パートごとに、文法のポイ
				②パートごとに、本文の読解のポイントを、Checkと見出しを付して記している。(2年P16-17など)	②パートごとに、学習する基本的な文と解説を、枠囲みで記している。(1年P29など)	
	防災や自然災害の扱い	- O - TT		あり	あり	あり
老	オリンピック・パラリンピック	の扱い		あり	あり	あり

#### 中学部 英語(肢体不自由・病弱特別支援学校)

_							
		教科書発行者			開隆堂	三省堂	
	第1学年 各学年で扱われている主 な単元の数 第2学年		11	11	8		
				8 7	8	10	
		第3学年	第3学年		7	8	
			第1学年	25	59	62	
		聞くこと	第2学年	17	60	59	
			第3学年	13	52	55	
			第1学年	32	35	33	
		読むこと	第2学年	48	36	35	
			第3学年	36	35	32	
	五つの領域のうち特定の 領域に焦点を当てた活動 及び複数の領域を統合し た活動の数		第1学年	35	38	35	
		話すこと[やり取り]	第2学年	31	32	19	
			第3学年	24	36	21	
		話すこと[発表]	第1学年	9	7	14	
	72/11300730		第2学年	21	9	13	
			第3学年	19	6	11	
			第1学年	32	33	32	
		書くこと	第2学年	22	30	29	
			第3学年	19	31	23	
		複数の領域を統合したもの	第1学年	3	3	3	
			第2学年	3	3	3	
	4 W h		第3学年	3	3	3	
	各学年で扱われている主 な文、文構造、文法事項	第1学年		12	11	12	
	の数※調査項目は32項	第2学年		13	12	135	
	目	第3学年		7	9	65	
_		第1学年		992	1004	146	
内容		第2学年		431 363	729	658	
ľ		第3学年	第3学年		616	440	
	発展的な内容を取り上げ	第1学年		0	0	0	
	ている箇所数	第2学年		2	0	0	
	## <del></del>	第3学年	60±. = 1 /4	1	0	1	
	胶体不目田・病駒のある5  単元等について	生徒が興味・関心をもって取り	組むことができる	41箇所	34箇所	41箇所	
	②肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの。 <b>肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について</b> ①運動制限や上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。  ②発音練習等の、音声の違いを的確に表現する活動があり、学習時に配慮が必要となるもの。			自由者であるロナルド・メイス氏について記述している。 (P64)  7箇所  ①1年「Grammar For Communication O」では、巻末の語順カードを並べて、まざまな文を作る活動があり、取り扱う際には配慮がぬ	に注目!」では、バラスポーツ独自の競技のルールや特。 微について記述している。 (P40-41) 8箇所 ①1年「発表上手になろう」では、相手に伝えたいことを、ジェスチャーで表現する活動があり、取り扱う際には配	いる。(P91-95)  2箇所 ①1年「単語の意味の調べ 方」では、英和辞典を使って 単語の意味を調べる活動が	
				要である。(P10) ②1年「Sounds and Letters 1」では、母音を正しく発音 する活動があり、学習時に 配慮が必要である。(P18)	②1年「英語の音声」では、 舌の位置に注意して発音す る活動があり、学習時に配 慮が必要である。(P152)	②1年「Sounds」では、母音 や子音を意識して発音する 活動があり、学習時に配慮 が必要である。(資料10-11)	
ĺ					1年 最初 19ポイン	1年 最初 14ポインル	
	本文の文字の大きさ			1年 最初 18ポイント	1年 最初 18ポイント	1年 最初 14ポイント	
	本文の文字の大きさ			1年 最初 18ポイント 3年 最後 11ポイント	3年 最後 14ポイント	1年 最初 14ポイント 3年 最後 14ポイント	
		物		1年 最初 18ポイント	3年 最後 14ポイント		
	本文の文字の大きさ 1ページの基本的な文字数	数		1年 最初 18ポイント 3年 最後 11ポイント	3年 最後 14ポイント 1年 最初 35文字×9行	3年 最後 14ポイント	
	1ページの基本的な文字数	数		1年 最初 18ポイント 3年 最後 11ポイント 1年 最初 42文字×7行	3年 最後 14ポイント 1年 最初 35文字×9行	3年 最後 14ポイント 1年 最初 37文字×5行	
		ψ		1年 最初 18ポイント 3年 最後 11ポイント 1年 最初 42文字×7行 3年 最初 43文字×18行	3年 最後 14ポイント 1年 最初 35文字×9行 3年 最初 46文字×14行	3年 最後 14ポイント 1年 最初 37文字×5行 3年 最初 44文字×17行	
構造	1ページの基本的な文字数 欄外の文字の大きさ	ψ		1年 最初 18ポイント 3年 最後 11ポイント 1年 最初 42文字×7行 3年 最初 43文字×18行 1年 7.5ポイント 3年 8.5ポイント	3年 最後 14ポイント 1年 最初 35文字×9行 3年 最初 46文字×14行 1年 10.5ポイント 3年 10ポイント	3年 最後 14ポイント 1年 最初 37文字×5行 3年 最初 44文字×17行 1年 7.5ポイント 3年 8.5ポイント	
成	1ページの基本的な文字数 欄外の文字の大きさ ふりがな <b>障害の状態に応じた事項</b> ①学習のポイント等が大き 組元等のまとまりが記され	、その他 でな文字や枠囲み等で簡潔に記	されていたり、各	1年 最初 18ポイント 3年 最後 11ポイント 1年 最初 42文字×7行 3年 最初 43文字×18行 1年 7.5ポイント 3年 8.5ポイント 未習得及び難読漢字 ①各単元の冒頭に、学習の	3年 最後 14ポイント 1年 最初 35文字×9行 3年 最初 46文字×14行 1年 10.5ポイント 3年 10ポイント 未習得及び難読漢字 ①各単元の冒頭に学習課題、最後に文法のまとめを記している。(1年P21、P27	3年 最後 14ポイント 1年 最初 37文字×5行 3年 最初 44文字×17行 1年 7.5ポイント 3年 8.5ポイント 未習得及び難読漢字 ①各単元の重要表現を枠囲	
成上のエ	1ページの基本的な文字数 欄外の文字の大きさ ふりがな 障害の状態に応じた事項 ①学習のポイント等が大き 単元等のまとまりが記され	、その他 でな文字や枠囲み等で簡潔に記		1年 最初 18ポイント 3年 最後 11ポイント 1年 最初 42文字×7行 3年 最初 43文字×18行 1年 7.5ポイント 3年 8.5ポイント 未習得及び難読漢字 ①各単元の冒頭に、学習の目標を枠囲みで記している。(3年P9など) ②2年「What are World Heritege sites and their problems?]では、富士山が抱える問題や現在の状況を写真で示した上で、世界遺写で示した上で、世界遺	3年 最後 14ポイント 1年 最初 35文字×9行 3年 最初 46文字×14行 1年 10.5ポイント 3年 10ポイント 未習得及び難読漢字 ① ①各単元の冒頭に学習課題、最後に文法のまとめを記している。(1年P21、P27など) ②3年「The Great Pacific Garbage Patch」では、海洋	3年 最後 14ポイント 1年 最初 37文字×5行 3年 最初 44文字×17行 1年 7.5ポイント 3年 8.5ポイント 未習得及び難読漢字 ①各単元の重要表現を枠囲みで記している。(1年P26など) ②1年「Emergency Food」では、非常食の写真やイラストを示した上で、災害への備	
成上の工夫	1ページの基本的な文字数 欄外の文字の大きさ ふりがな 障害の状態に応じた事項 ①学習のポイント等が大き 単元等のまとまりが記され ②体験の不足を補えるよ	、その他 たな文字や枠囲み等で簡潔に記 ていたりするもの。		1年 最初 18ポイント 3年 最後 11ポイント 1年 最初 42文字×7行 3年 最初 43文字×18行 1年 7.5ポイント 3年 8.5ポイント 未習得及び難読漢字 ①各単元の冒頭に、学習の目標を枠囲みで記している。(3年P9など) ②2年「What are World Heritege sites and their problems?」では、富士山が抱える問題や上で、世界遺産について考えるようにして、大きないで表えるようにして	3年 最後 14ポイント 1年 最初 35文字×9行 3年 最初 46文字×14行 1年 10.5ポイント 3年 10ポイント 未習得及び難読漢字 ①①各単元の冒頭に学習課題、最後に文法のまとめを記している。(1年P21、P27など) ②3年「The Great Pacific Garbage Patch」では、海洋ごより写真を示した上で、生物に与える影響について、考えるようにしている。(P79-	3年 最後 14ポイント 1年 最初 37文字×5行 3年 最初 44文字×17行 1年 7.5ポイント 3年 8.5ポイント 未習得及び難読漢字 ①各単元の重要表現を枠囲みで記している。(1年P26など) ②1年「Emergency Food」では、非常食の写真やイラストを示した上で、災害への備えについて考えるようにして	

#### 中学部 英語(肢体不自由・病弱特別支援学校)

		教科書発行者		教出	光村	政士护
	第1学年			<b>教四</b> 8	<b>元刊</b> 9	<b>啓林館</b> 11
	各学年で扱われている主 な単元の数 第2学年		10	8	8	
	4年ルの数	第3学年		8	8	6
			第1学年	43	71	73
		聞くこと	第2学年	40	63	74
			第3学年	26	59	55
		=±+>= l-	第1学年	42	32	22
		読むこと	第2学年 第3学年	59 61	34 32	44 37
			第1学年	35	40	55
		話すこと[やり取り]	第2学年	31	40	44
	五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動	m / CC[ ( /4x /)	第3学年	19	29	33
	及び複数の領域を統合し		第1学年	11	22	6
	た活動の数	話すこと[発表]	第2学年	15	15	10
			第3学年	19	17	11
			第1学年	12	30	37
		書くこと	第2学年	14	30	44
			第3学年	10	26	28
		<b>生料のほけたなみ」ともの</b>	第1学年	3	3	13
		複数の領域を統合したもの	第2学年 第3学年	3	3	11 8
	各学年で扱われている主		赤り子牛	145	13	14
	な文、文構造、文法事項	第2学年		145	13	11
	の数※調査項目は32項 目	第3学年		5	8	7
	I	第1学年		1110	1038	1134
内	取扱い語数	第2学年		577	727	868
容		第3学年		498	702	659
	発展的な内容を取り上げ	第1学年		0	0	0
	ている箇所数		第2学年		0	0
	時状不自由・毎期のなる	第3学年 <b>E徒が興味・関心をもつて取り</b>	Bオ\ニレができる	0	0	13
	単元等について	Chen. Seat Barne On Caral	EO-C20-C2-0	30箇所 ①1年「Useful Expressions	42箇所 ①1年「Here We Go!」では、	49箇所 ①2年「Let's Listen 1」で
	①生活に結び付く身近な内容など、生徒がイメージしやすい題材を取り上げているもの。 ②肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの。		1」では、ペアを組んで校舎 内を案内する活動があり、 学習の内容がイメージしや すい。(P97) ②2年「Design Makes	自己紹介について考える活動があり、学習の内容がイメージしやすい。(P26-35) ②1年「Hi, David!」では、登場人物が重いすテニスに取	は、天気予報について必要な情報を聞き取る活動があり、学習の内容がイメージしやすい。(P16) ②3年「Society for All」では、カリスクライが、パフェー	
				車両乗降口の隙間を狭くする工夫について記述している。(P39)	り組んでいることについて記 述している。(P72-79)	は、車いすの方がバスに乗 り込む写真とともにユニバー サルデザインについて記述 している。(P61)
		<b>意を要する内容等について</b> を伴うため、学習活動に困難ヵ	「想定されるも	4箇所	3箇所	6箇所
	の。 ②発音練習等の、音声の違いを的確に表現する活動があり、学習時に配慮が必要となるもの。			(1)1年 辞書の使い方」では、英和辞典を使って単語の意味を調べる活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P19)	①2年「You Can Do It!②」で は、さまざまな手話について 記してあり、取り扱う際には 配慮が必要である。(P87) ②1年「Sounds and	(1)1年  英語の学び方(1)」では、英和辞典を使って単語の意味を調べる活動があり、取り扱う際には配慮が、要である。(P29)
				②1年「効果的な英語学習法」では、和製英語と英語の違いに注意して発音する活動があり、学習時に配慮が必要である。(P152)	Letters」では、母音の音の 違いに注意して、声に出して	②1年「英語の学び方②」では、母音が入らないように 続して子音を発音する活動 があり、学習時に配慮が必 要である。(P100)
	本文の文字の大きさ			1年 最初 16ポイント	1年 最初 17ポイント	1年 最初 14ポイント
			3年 最後 12ポイント	3年 最後 15ポイント	3年最後 12ポイント	
	1ページの基本的な文字数		1年 最初 49文字×11行	1年 最初 28文字×11行	1年 最初 37文字×7行	
			3年 最初 51文字×12行	3年 最初 46文字×12行	3年 最初 42文字×19行	
	欄外の文字の大きさ			1年 8ポイント 3年 8ポイント	1年 10.5ポイント 3年 10.5ポイント	1年 7.5ポイント 3年 8ポイント
構成				未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
成上の工夫	<b>障害の状態に応じた事項、その他</b> ①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。			①各単元に達成度を確認できる課題を記している。(1年 P29など)	①各単元の冒頭に学習課 題、最後に学習の振り返り	不省特及い難応漢子 ①各単元の冒頭に学習課題、最後に学習の振り返りを記している。(2年P5、P1など)
	(必体験の个定を補えるように、与臭、図衣寺で視見的に説明されているもの。			(を) はいます。 いまない はいます いまない はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいま	②2年「How Do We Stay Safe?」では、非常用持出品 の写真を示した上で、災害 時に必要な物について考え るようにしている。(P59-67)	②3年「Living Side by Side では、シカの踏切や魚道な どの写真を示した上で、野 生動物の保護について考; るようにしている。(P31-40
4	防災や自然災害の扱い			あり	あり	<b>あり</b>
	オリンピック・パラリンピック	10 th 1		あり	あり	あり

#### 「別紙」【(2)構成上の工夫】 英語

#### ア デジタル教科書の扱い

発行者	取り上げられた単元名(学年)	a 拡大機能	b 音声機能 ※1	c 動画機能 ※2	d 書き込み機能	e 保存機能	備考
東書	Unit 2 What is local food?	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ※3 ・読み上げ機能有 ※4 ・デジタル用例辞典収録
開隆堂	PROGRAM 3 Taste of Culture	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有
三省堂	Lesson 5 Visiting Australia	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有 ・辞書機能有
教 出	Lesson 3 Design Makes Change	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有 ・録音・再生機能有 ※5
光村	Unit 7 Working Together	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有 ・録音・再生機能有
啓林館	Unit 2 Festivals in the World	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有

- ※1 「b 音声機能」では、教科書の本文や活動例、歌やチャンツ等の音声を聞くことが可能かを調査している。
- ※2 「c 動画機能」では、活動例や学習の参考となる情報を、アニメーションや実写映像等で視聴することが可能かを調査している。 ※3 「単語・文の個別再生機能」とは、教科書に記載されている英語の単語や文を個別に選択(タッチ)すると、その単語・文のみを再生する機能である。
- ※4 「読み上げ機能」とは、教科書に記載されている文章(日本語、英語を含む。)を、音声で読み上げる機能のことである。
- ※5 「録音・再生機能」とは、児童が自分の音声を録音・再生することができる機能のことである。

資料3 (抜粋版)

# 令和7年度使用教科書採択について (教科書採択資料)

(都立小学校、都立中学校、都立中等教育学校(前期課程)及び都立特別支援学校(小学部・中学部))

令和6年7月

東京都教育委員会

# I 文部科学省検定済教科書

# 1 新規に採択する必要があるもの

# (1) 都立中学校及び都立中等教育学校(前期課程)用教科書

下記の各都立中学校及び各都立中等教育学校(前期課程)における令和7年度使用教科書については、以下の資料等を基に、適正に採択を行うこと。

○令和7~10年度使用 都立中学校及び都立中等教育学校(前期課程)用教科書採択資料 <別添>

記

白鷗高等学校附属中学校

小石川中等教育学校(前期課程)

両国高等学校附属中学校

桜修館中等教育学校(前期課程)

立川国際中等教育学校(前期課程)

武蔵高等学校附属中学校

富士高等学校附属中学校

大泉高等学校附属中学校

南多摩中等教育学校(前期課程)

三鷹中等教育学校(前期課程)

# (2) 都立特別支援学校(中学部)用文部科学省検定済教科書

以下の資料等を基に、適正に採択を行うこと。

〇令和7~10年度使用 都立特別支援学校(中学部)用文部科学省検定済教科書採択資料 <別添>

なお、視覚障害特別支援学校において使用する文部科学省検定済教科書については、点字教科書が出版される種目(国語、社会(地理的分野、歴史的分野、公民的分野)、数学、理科、音楽(一般、器楽合奏)、保健体育、技術・家庭(技術分野、家庭分野)、英語、道徳)については、点字教科書の原典となる文部科学省検定済教科書を採択(案)とする。

# 2 前回採択時と同一の教科書を採択する必要があるもの

# (1)都立小学校用教科書

都立小学校用教科書は、令和5年度に新たに採択したものである。

令和7年度は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律(以下「無償措置法」という。)第14条及び同施行令第15条の規定に定められている種目ごとに同一の教科書を採択する期間(4年間)の途中の年度であるため、令和5年度に採択した教科書と同一の教科書を採択する必要がある(使用期間は令和6~9年度)。

採択に当たっては、以下の資料等を基に、適正に採択を行うこと。

○令和7年度使用都立小学校用教科書採択資料<4ページ>

# (2) 都立特別支援学校(小学部)用文部科学省検定済教科書

都立特別支援学校(小学部)用文部科学省検定済教科書は、令和5年度に新たに採択したものである。

令和7年度は、無償措置法第14条及び同施行令第15条の規定に定められている種目 ごとに同一の教科書を採択する期間(4年間)の途中の年度であるため、令和5年度に採択 した教科書と同一の教科書を採択する必要がある(使用期間は令和6~9年度)。 採択に当たっては、以下の資料等を基に、適正に採択を行うこと。

○令和7年度使用 都立特別支援学校(小学部)用文部科学省検定済教科書採択資料 <5ページ>

# 令和7年度使用 都立小学校用教科書採択資料

令和5年度の採択結果は以下のとおりである。

教科 (種目)	発行者(略称)	
国語	東書	
書写	東書	
社会	東書	
地図	帝国	
算数	啓林館	
理科	大日本	
生活	東書	
音楽	教芸	
図画工作	開隆堂	
保健	東書	
英語	東書	
道徳	光文	

<sup>(</sup>注)発行者の略称は、令和6年4月文部科学省発行「小学校用 教科書目録(令和7年度使用)」による。

## 令和7年度使用都立特別支援学校(小学部)用文部科学省検定済教科書採択資料

令和5年度の採択結果は以下のとおりである。

種目	視覚障害 特別支援学校	聴覚障害 特別支援学校	肢体不自由 • 病弱 特別支援学校
国語	光村	東書	東書
書写	教出	教出	教出
社会	教出	東書	東書
地図	帝国	帝国	帝国
算数	大日本	学図	啓林館
理科	東書	東書	東書
生活	東書	東書	東書
音楽	教芸	教芸	教芸
図画工作	開隆堂	開隆堂	開隆堂
家庭	開隆堂	開隆堂	東書
保健	学研	大修館	東書
英語	開隆堂	東書	三省堂
道徳	教出	光文	光文

<sup>(</sup>注1) 知的障害特別支援学校では教育課程の編成・実施の関係上、文部科学省検定済教科書は 使用しない。

<sup>(</sup>注2) 視覚障害特別支援学校で使用する文部科学省検定済教科書のうち、点字教科書が出版さ

により、元元(年日)の別人版子はく区用する人間付予目映た何教付書のりら、点子教科書が出版される種目については、点字教科書の原典となる教科書を採択した。 (注3)発行者の略称は、令和6年4月文部科学省発行「小学校用教科書目録(令和7年度使用)」による。

# Ⅱ 文部科学省著作教科書

以下の資料等を基に、適正に採択を行うこと。

○令和7年度使用 都立特別支援学校(小学部・中学部)用教科書採択資料(文部科学省 著作教科書) <7~14ページ>

# 令和7年度使用都立特別支援学校(小学部・中学部)用教科書採択資料 (文部科学省著作教科書)

令和6年4月文部科学省発行「特別支援学校用(小・中学部)教科書目録(令和7年度使用)」に登 載された図書は以下のとおりである。

# 1 特別支援学校(小学部・中学部)視覚障害者用[点字版]

【小学部】	発信者の	おむ 事	ı	Т
教科	│ 発行者の │番号•略称	教科書   番 号	使用学年	書名
	H 17 H 11/1/	A-161		こくご 点字導入編
		A-162	· 1年	こくご 1-1
		A-163		こくご 1-2
		A-261		こくご 2-1
		A-262	0年	こくご 2-2
		A-263	2年	こくご 2-3
		A-264		こくご 2-4
		A-361	]	国語 3-1
		A-362	   3年	国語 3-2
		A-363	]	国語 3-3
	182	A-364		国語 3-4
国語	ライト	A-461		国語 4-1
	'''	A-462	4年	国語 4-2
		A-463	''	国語 4-3
		A-464		国語 4-4
		A-561	- - 5年 -	国語 5-1
		A-562		国語 5-2
		A-563		国語 5-3
		A-564		国語 5-4
		A-661	ļ	国語 6-1
		A-662	6年	国語 6-2
		A-663		国語 6-3
		A-664		国語 6-4
		A-361		社会 3-1
		A-362	3年	社会 3-2 社会 3-3
		A-363 A-364		社会 3-3     社会 3-4
		A-304 A-461		社会
		A-462		社会 4-2
		A-463	4年	社会 4-3
	216	A-464		社会 4-4
社会	支援セン	A-465	ł	社会 4-5
	ター	A-561		社会 5-1
		A-562		社会 5-2
		A-563		<u>はなっている</u> 社会 5-3
		A-564	5年	<u>はなって</u> 社会 5-4
		A-565	• '	社会 5-5
		A-566		<u>社会 5−6</u>
		A-567	1	<u> </u>

# 2 特別支援学校(小学部・中学部)聴覚障害者用

## 【小学部】

K J J HPZ				
教科	発行者の 番号・略称	教科書 番 号	使用学年	書名
		B-121	1年	こくご ことばのべんきょう 一ねん
<b>==</b> ==	17 教出	B-221	2年	こくご ことばのべんきょう ニねん
国語		B-321	3年	こくご ことばのべんきょう 三ねん
言語指導		B-421	4年	国語 ことばのれんしゅう 四年
		B-521	5年	国語 ことばの練習 五年
		B-621	6年	国語 ことばの練習 六年

### 【中学部】

教科	発行者の 番号・略称	教科書 番 号	使用学年		書	名
国語言語	17 教出	B-721	1年~3年	国語 言語編		

## 3 特別支援学校(小学部・中学部)知的障害者用

## 【小学部】

教科	発行者の 番号・略称	教科書 番 号	使用学年	書名
		C-121		こくご ☆
国語	2 東書	C-122	1年~6年	= <
		C-123		<b>ニ</b> ⟨ご ☆☆☆
		C-121		さんすう ☆
算数	17	C-122	1年~6年	さんすう ☆☆(1)
<del>算</del>	教出	C-123		さんすう ☆☆(2)
		C-124		さんすう ☆☆☆
		C-121	1年~6年	せいかつ ☆
生活	2 東書	C-122		せいかつ ☆☆
		C-123		せいかつ ☆☆☆
音楽		C-121		おんがく ☆
	2 東書	C-122	1年~6年	おんがく ☆☆
		C-123		おんがく ☆☆☆

## Ⅲ 学校教育法附則第9条第1項の規定による教科書(一般図書)

以下の資料等を基に、適正に採択を行うこと。

○令和7年度に都立特別支援学校(小学部・中学部)で使用する学校教育法附則第9条第 1項の規定による教科書(一般図書)採択資料 <16ページ~51ページ>

なお、採択期限後に、教科書発行者等から、特別支援学校(小学部・中学部)で令和7年 度に使用する教科書として採択した文部科学省検定済教科書を原典とする点字版一般図書 が発行された場合は、当該図書について、追加して採択を行う。

(無償措置法施行令第14条第2項)

令和7年度使用都立特別支援学校(小学部・中学部)用 学校教育法附則第9条第1項の規定による教科書(一般図書)採択一覧

# 1 点字版一般図書

## 【小学部】

L J J HPZ		
教科	発行者	書名
地 図	社会福祉法人東京点字出版所	改訂 日本地図 改訂 世界地図
	社会福祉法人日本ライトハウス	初等地図帳
音楽	社会福祉法人日本ライトハウス	小学生のおんがく 1(教芸)   小学生の音楽 2-1(教芸)   小学生の音楽 2-2(教芸)   小学生の音楽 3-1(教芸)   小学生の音楽 3-2(教芸)   小学生の音楽 4-1(教芸)   小学生の音楽 4-2(教芸)   小学生の音楽 5-1(教芸)   小学生の音楽 5-2(教芸)   小学生の音楽 6-1(教芸)   小学生の音楽 6-2(教芸)   小学生の音楽 6-2(教芸)
家庭	社会福祉法人東京ヘレン・ケラー協会	家庭科5·6年 1(開隆堂) 家庭科5·6年 2(開隆堂) 家庭科5·6年 3(開隆堂) 家庭科5·6年 4(開隆堂)
保健	社会福祉法人日本ライトハウス	新・みんなのほけん 3・4年(学研) 新・みんなの保健 5・6年-1(学研) 新・みんなの保健 5・6年-2(学研)

## 【中学部】

【中字部】			
教科	発行者	書	名
地図	社会福祉法人東京点字出版所	改訂 日本地図 改訂 世界地図	
	社会福祉法人日本ライトハウス	社会科地図帳	
		中学生の音楽 1-1	(教芸)
		中学生の音楽 1-2	(教芸)
		中学生の音楽 1-3	(教芸) (教芸)
音 楽	  社会福祉法人日本ライトハウス	中学生の音楽 2·3 上 1 中学生の音楽 2·3 上 2	_( <u>教</u> 云 <i>)</i> (教芸)
(一般)	社会価値広入日本プイト・プス	中子王の自来 23 エ 2	
		中学生の音楽 23 下 1	
		<u>十十二の日来 23   1</u>    中学生の音楽 23   下 2	(教芸) (教芸)
		<u> 中学生の音楽 2·3 下 3</u>	(教芸)
音楽		中学生の器楽 1	(教芸)
(器楽合奏)	社会福祉法人日本ライトハウス	中学生の器楽 2	(教芸)
		新·中学保健体育 1	(学研)
		新・中学保健体育 2	(学研)
		新・中学保健体育 3	(学研)
保 健		新・中学保健体育 4	(学研)
▲ 体育	社会福祉法人日本ライトハウス	新中学保健体育 5	(学研)
111 13		新・中学保健体育 6	(学研)
		新・中学保健体育 7	(学研)
		新・中学保健体育 8	(学研)
		新中学保健体育 9	(学研)
		技術・家庭 技術分野 1	(開隆堂)
		技術・家庭  技術分野  2	(開隆堂)
		技術・家庭 技術分野 3	(開隆堂)
<b>井作. 安</b> 克		技術・家庭 技術分野 4	(開隆堂)
┃技術・家庭 ┃(技術分野)	社会福祉法人東京ヘレン・ケラ一協会	技術・家庭 技術分野 5 技術・家庭 技術分野 6	(開隆堂) (開隆堂)
		技術・家庭 技術分野 0  技術・家庭 技術分野 7	(用産宝) (開隆堂)
		技術・家庭  技術分野 8	(開隆皇 <i>)</i> (開隆堂)
		技術・家庭 技術分野 9	(開隆至) (開隆堂)
		技術・家庭 技術分野 10	(開隆至) (開隆堂)
	l	[]又即	

# 2 拡大版一般図書

# 【小学部】

教	科	発行者	書名
			新編 あたらしい こくご 一上(国語109) 拡大版
			新編 あたらしい こくご 一下(国語110) 拡大版
		東京書籍株式会社	新編 新しい 国語 二上(国語209) 拡大版
			新編 新しい 国語 二下(国語210) 拡大版
			新編 新しい国語 三上(国語309) 拡大版
			新編 新しい国語 三下(国語310) 拡大版
			新編 新しい国語 四上(国語409) 拡大版
			新編 新しい国語 四下(国語410) 拡大版
			新編 新しい国語 五(国語509) 拡大版
l_	国語・		新編 新しい国語 六(国語609) 拡大版
国			こくご一上 かざぐるま(国語113) 拡大版
			こくご一下 ともだち(国語114) 拡大版
			こくご二上 たんぽぽ(国語213) 拡大版
			こくごニ下 赤とんぼ(国語214) 拡大版
			国語三上 わかば(国語313) 拡大版
		光村図書出版株式会社	国語三下 あおぞら(国語314) 拡大版
			国語四上 かがやき(国語413) 拡大版
			国語四下 はばたき(国語414) 拡大版
			国語五 銀河(国語513) 拡大版
			国語六 創造(国語613) 拡大版
			しょうがく しょしゃ 一ねん(書写107) 拡大版
			小学 しょしゃ 二年(書写207) 拡大版
			小学 書写 三年(書写307) 拡大版
書	写	教育出版株式会社	小学 書写 四年(書写407) 拡大版
			小学 書写 五年(書写507) 拡大版
			小学 書写 六年(書写607) 拡大版
			新編 新しい社会3(社会305) 拡大版
			新編 新しい社会4(社会405) 拡大版
			新編 新しい社会5上(社会505) 拡大版
		東京書籍株式会社	新編 新しい社会5下(社会506) 拡大版
1			新編 新しい社会6 政治・国際編(社会605) 拡大版
社	会		新編 新しい社会6 歴史編(社会606) 拡大版
			小学社会3(社会307) 拡大版
			小学社会4(社会407) 拡大版
		教育出版株式会社	小学社会5(社会507) 拡大版
			小学社会6(社会607) 拡大版
抽	図	株式会社帝国書院	楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6年(地図304) 拡大版
	_		新版 たのしいさんすう1ねん①(算数114) 拡大版
			新版 たのしいさんすう1ねん②(算数115) 拡大版
			新版 たのしい算数2年(算数214) 拡大版
算	数	大日本図書株式会社	新版 たのしい算数3年(算数314) 拡大版
[	~		新版 たのしい算数4年(算数414) 拡大版
			新版 たのしい算数5年(算数514) 拡大版
			新版 たのしい算数6年(算数614) 拡大版
			が

## 3 一般図書

(知的障害のある児童・生徒及び知的障害を併せ有する児童・生徒の教育課程用) 発達段階について

- A: 話し言葉はないが、物事への興味や関心が出始め、簡単な物の弁別が可能な段階にあるもの
- B:話し言葉をもち、文字の読み書きに興味をもち始め、物事の初歩的な概念が分かる段階にあるもの
- C: 簡単な読み書きは可能であるが、学年相応の検定済み教科書や文部科学省著作教科書では学習が困難な段階にあるもの

# 【生活】

番	号	発行者名	図書名	発達段階
生	1	あかね書房	えほん、よんで!2 おいしいおとなあに?	Α
生	2	あかね書房	けんちゃんとあそぼう① のってのって	Α
生	3	あかね書房	けんちゃんとあそぼう③ まねっこまねっこ	Α
生	4	あかね書房	単行本 さわってあそぼうふわふわあひる	Α
生	5	偕成社	ノンタンあそぼうよ② ノンタンおやすみなさい	Α
生	6	偕成社	ノンタンあそぼうよ⑧ ノンタンあわぷくぷくぷぷぷう	Α
生	7	偕成社	赤ちゃん版ノンタン② ノンタンもぐもぐもぐ	Α
生	8	偕成社	あかちゃんのあそびえほん① ごあいさつあそび	Α
生	9	偕成社	あかちゃんのあそびえほん④ ひとりでうんちできるかな	А
生	10	偕成社	あかちゃんのあそびえほん⑥ いいおへんじできるかな	А
生	11	偕成社	あかちゃんのあそびえほん⑧ シャンプーだいすき	Α
生	12	こぐま社	こぐまちゃんえほん 第2集 こぐまちゃんのみずあそび	А
生	13	こぐま社	こぐまちゃんえほん 第2集 こぐまちゃんいたいいたい	Α
生	14	こぐま社	創作絵本シリーズ かおかおどんなかお	Α
生	15	こぐま社	ねずみさんのながいパン	А
生	16	コクヨ	しかけえほん おやさいどうぞ	Α
生	17	小学館	おにぎりくん (いただきますシリーズ)	А
生	18	小学館	からあげくん (いただきますシリーズ)	А
生	19	小学館	たまごやきくん(いただきますシリーズ)	А
生	20	鈴木出版	マークのずかん	А
生	21	大日本絵画	むしむしさわってごらん	А
生	22	童心社	さつまのおいも	Α
生	23	童心社	はなのさくえほん	Α
生	24	ひかりのくに	ともだちいっぱい	А
生	25	福音館書店	おにぎり	А
生	26	福音館書店	サンドイッチ サンドイッチ	А
生	27	福音館書店	幼児絵本シリーズ (くまくんの絵本) おふろだ、おふろだ!	А
生	28	福音館書店	幼児絵本シリーズ(くまくんの絵本) どうすればいいのかな?	Α
生	29	福音館書店	幼児絵本シリーズ(くまくんの絵本) こんにちは	А

令和7~10年度使用 都立中学校及び都立中等教育学校(前期課程)用 教 科 書 採 択 資 料

> 令和6年7月 東京都教育委員会

# 英 語

	発行者		教科書の記号・番号	判型	検定済年
番号	名称	略称	教育者の記方・番ヶ	総ページ数	快起併十
2	東京書籍	東書◆	英語 002-72・002-82・002-92	A 4	
2	<b>水</b> 小 目相	<b>∤</b> ■ <b>▼</b>	大品 002 12 002 02 002 02	486	
9	開隆堂出版	開隆堂◆	英語 009-72・009-82・009-92	A 4	
9	州性至山瓜	ጠ性至▼	关品 003 12 003 02 003 32	514	
15	三省堂	三省堂◆	英語 015-72・015-82・015-92	A 4	
10	一日至	—目 <b>王</b> ▼	大品 010 12 010 02 010 02	532	令和6年
17	教育出版	教 出◆	英語 017-72・017-82・017-92	АВ	11440 —
11	₹ H □/IK	<b>₩</b>	大品 011 12 011 02 011 02	546	
38	   光村図書出版	光 村◆	英語 038-72・038-82・038-92	АВ	
30	几竹囚音山瓜	)L 171 ▼	央品 030 12 030 02 030 32	582	
61	新興出版社	啓林館◆	英語 061-72・061-82・061-92	A 4	
01	啓林館	/ <u>6</u> 1//\\\\ \\	大田 001 12 001 02 001 32	490	

<sup>※「</sup>発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」(学校教育法第34条第2項に規定する教材)の発行予定があることを示しています。

都立	白鷗高等学校附属中学校	英語	採択資
	発行者の番号	7	
	略和	<u> </u>	

都立	立 白鷗高等学校附属中学校 英語 採択資		T		Γ	T	T
	発行者の番号	2	9	15 — daak	17	38	61
	略 称 日本の文化・伝統を扱っている教材数	東書	開隆堂	三省堂	教出 8	光村 7	<b>啓林館</b>
		11	-				9
	SDGsを扱っている教材数	16	17	10	14	10	13
	自然・科学、環境を扱っている教材数	5	12	3	7	3	8
内	「聞くこと」に焦点を当てた活動の数	55	171	176	109	192	202
	「読むこと」に焦点を当てた活動の数	116	106	100	162	98	103
容	「話すこと[やり取り]」に焦点を当てた活動の数	90	106	75	85	109	132
	「話すこと[発表]」に焦点を当てた活動の数	49	22	38	45	54	27
	「書くこと」に焦点を当てた活動の数	73	94	84	36	86	109
	複数の領域を統合したものに焦点を当てた 活動の数	9	9	9	9	9	32
構成	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫 (単元構成上の工夫等)	元学習後の「Stage Activity」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。 ・各単元末の「CHECK」(振り返り	設定、複数単元学習後の「Our Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。・各単元末の「できたかな? GOAL」(振り返りの視点を示したもの)、「Our Project」」に設定された振り返り、巻末の「CAN DOリスト」により、生徒が学習の達成状況を振り返り、把握できるよう	元末での自己表現活動となる 「Goal Activity」の設定、複数単 元学習後の「Project」(複数の領 域を統合した活動)の設定等に	・各単元冒頭での目標(「Goal」)の提示、単元末での自己表現活動となる「Task」の設定、複数単元学習後の「Project」(複数単領域を統合した活動)の設定をでいる。とは、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。り返ろう」(振り返りの視点を示したもの)、「Project」に設定された「Project ~をふり返ろう」、巻下の「Can-Do 自己チェックリスト」により、生徒が学習の達成状況を振り返り、把握できるよう工夫している。	己表現活動となる「Goal」の活動の設定、複数単元学習後の「You Can Do It!」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。・各単元末の「Goal ふり返り」(振り返りの視点を示したもの)、「You Can Do It!」に設定された	・各単元冒頭での目標(「Unit Goal」)の提示、単元末での「Think & Speak」「Think & Write」(自己表現活動)の設定、複数単元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。・各単元末の「Check」(振り返りの視点を示したもの)、巻末の「CAN-DO List」により、生徒が学習の達成状況を振り返り、把握できるよう工夫している。
構成上の工夫	小学校外国語科との円滑な接続のための工 夫 (小学校で学習した語彙や表現の扱い 方等)	るとともに、小学校で聞いたり話したりした単語や表現が中心となっている。 ・各学年巻末の「Word List」 (語彙リスト)には、小学校で学習した語が分かるよう記 号を付けている。また、本文の各パート等においてまた。	・第1学年では小・中接続単元 (P7-20)において、新しい仲間へ のインタビュー等の英語による り取りや、英語の語順を理解す る活動など、小学校での学習内 容を踏まえた活動を設定してい る。 ・各学年巻末の「単語と熟語」(語 彙リスト)の一覧には、小学校で 学習した語が分かるよう記号を 付けている。また、本文の各パート等においても、「小学校で学ん だ単語」を一覧にして示してい る。。	した「My Dictionary」を掲載している。Lesson 4までは小学校で学んだ言語材料を振り返りながら整理し、活用できるよう	・第1学年では小・中接続単元 (P6-17)を設定するとともに、 Lesson 2までは小学校で学んだ 表現を多く使用している。 ・各学年巻末の「Word List」 (語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号 を付けている。また、本文の 各パート等においても、「小学校の発信語」を一覧にして 示している。	英文に慣れていくよう構成している。また、巻末に小・中接続単元で使われている語の一覧を掲載している。 ・各学年の「Word List」(語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。ま	・第1学年では小・中接続単元 (P4-10)において、好きなものやできることをたずね合ったり、アルファベットを読み書きしたりするなど、小学校での学習内容を踏まえた活動を設定している。・各学年巻末の「Word List」(語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、小学校で学習した語を一覧にして示している。
参	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
考	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり

都立 小石川中等教育学校 英語 採択資料

都:	立 小石川中等教育学校 英語  採択資料										
	発行者の番号	2	9	15	17	38	61				
	略称	東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館				
	海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	9	1	3	1	3	8				
	自然・科学、環境を扱っている教材数	5	12	3	7	3	8				
	ディスカッションやディベートについて記述し てある教材数	3	4	5	4	2	1				
内	「聞くこと」に焦点を当てた活動の数	55	171	176	109	192	202				
	「読むこと」に焦点を当てた活動の数	116	106	100	162	98	103				
容	「話すこと[やり取り]」に焦点を当てた活動の 数	90	106	75	85	109	132				
	「話すこと[発表]」に焦点を当てた活動の数	49	22	38	45	54	27				
	「書くこと」に焦点を当てた活動の数	73	94	84	36	86	109				
	複数の領域を統合したものに焦点を当てた 活動の数	9	9	9	9	9	32				
構成上の工夫	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫 (単元構成上の工夫等)	定等により、生徒が見通しをもっ て学習を進められるよう工夫して いる。	・各単元末の「できたかな? GOAL」(振り返りの視点を示した もの)、「Our Project」「に設定され た振り返り、巻末の「CAN-DOリ スト」により、生徒がC署の達成 状況を振り返り、把握できるよう	元末での自己表現活動となる「Goal Activity」の設定、複数単元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。・各単元末の「ふり返り」(振り返りの視点を示したもの)、「Project」に設定された「ふり返り」、巻末の「What Can I Do?」(Can-Doリスト)により、生徒が学	元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。・各単元末の「Lesson ~をふり返ろう」(振り返りの視点を示したもの)、「Project ~をふり返ろう」、参末の「Can-Do 自己チェックリスト」により、生徒が学習の達成状況を振り返り、把握できるよう工夫している。	・各単元目頭での目標(「Goal」) と単元の内容に関する「目的・場 面・状況」の提示、単元末での自 己表現活動となる「Goal」の活動 の設定、複数単元学習後の「You Can Do It!」(複数の領域を統合 した活動)の設定等により、生徒 が見通しをもって学習を進められ るよう工夫している。 ・各単元末の「Goal ふり返り」(振 り返りの視点を示したもの)、 「You Can Do It!」「に設定された 「Goal 学期のふり返り」、巻末の 「CAN-DO List」により、生徒が 学習の達成状況を振り返り、把 握できるよう工夫している。	域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。 ・各単元末の「Check」(振り返り				
	小学校外国語科との円滑な接続のための工 夫 (小学校で学習した語彙や表現の扱い 方等)	・第1学年では小・中接続単元を 設定(P6-10)するとともに、Unit 4までは小学校の活動を振り返 るとともに、小学校で聞いた	容を踏まえた活動を設定している。 ・各学年巻末の「単語と熟語」(語彙リスト)の一覧には、小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パー	した「My Dictionary」を掲載している。Lesson 4までは小学校で学んだ言語材料を振り返りながら整理し、活用できるよう	表現を多く使用している。 ・各学年巻末の「Word List」 (語彙リスト)には小学校で 学習した語が分かるよう記号 を付けている。また、本文の 各パート等においても、「小学校の発信語」を一覧にして 示している。	・第1学年では小・中接続単元 (P6-19)を設定するとともに、Unit 3までは本文を漫画のセリフ 形式にするなど、生徒が徐々に 英文に慣れていくよう構成している。また、巻末に小・中接続単元で使われている語の一覧を掲載している。・各学年の「Word List」(語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、小学校で学習した語には記号を付けて示している。	・第1学年では小・中接続単元 (P4-10)において、好きなものやできることをたずね合ったり、ア ルファベットを読み書きしたりするなど、小学校での学習内容を踏まえた活動を設定している。・各学年巻末の「Word List」(語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、小学校で学習した語を一覧にして示している。				
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり				
考	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり				

都.	立 両国高等学校附属中学校 英語  採択資料										
	発行者の番号	2	9	15	17	38	61				
	略称	東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館				
	海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	9	1	3	1	3	8				
	自然・科学、環境を扱っている教材数	5	12	3	7	3	8				
	ディスカッションやディベートについて記述し てある教材数	3	4	5	4	2	1				
内	「聞くこと」に焦点を当てた活動の数	55	171	176	109	192	202				
	「読むこと」に焦点を当てた活動の数	116	106	100	162	98	103				
容	「話すこと[やり取り]」に焦点を当てた活動の 数	90	106	75	85	109	132				
	「話すこと[発表]」に焦点を当てた活動の数	49	22	38	45	54	27				
	「書くこと」に焦点を当てた活動の数	73	94	84	36	86	109				
	複数の領域を統合したものに焦点を当てた 活動の数	9	9	9	9	9	32				
構成上	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫 (単元構成上の工夫等)	定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。 ・各単元末の「CHECK」(振り返りの視点を示したもの)、「Stage Activity」「に設定された「CAN DO	・各単元末の「できたかな? GOAL」(振り返りの視点を示した もの)、「Our Project」「に設定され た振り返り、巻末の「CAN-DOリ スト」「こより、生徒がC署の達成 状況を振り返り、把握できるよう	元末での自己表現活動となる「Goal Activity」の設定、複数単元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。・各単元末の「ふり返り」(振り返りの視点を示したもの)、	元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。	-各単元冒頭での目標(「Goal」) と単元の内容に関する「目的・場 面・状況」の提示、単元末での自 己表現活動となる「Goal」の活動 の設定、複数単元学習後の「You Can Do It!」(複数の領域を統合 した活動)の設定等当を進めら が見通しをもっている。 ・各単元末の「Goal ふり返り」(振 り返りの視点を示したもの)、 「You Can Do It!」に設定された 「Goal 学期のふり返り」、生徒が 学習の達成状況を振り返り、把 握できるよう工夫している。	(自己表現活動)の設定、複数単元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。・各単元末の「Check」(振り返り				
構成上の工夫	小学校外国語科との円滑な接続のための工 夫 (小学校で学習した語彙や表現の扱い 方等)	・第1学年では小・中接続単元を設定(P6-10)するとともに、Unit 4までは小学校の活動を振り返るとともに、小学校で聞いたり話したりした単語や表現が中心となっている。 ・各学年巻末の「Word List」(語彙リスト)には、小学校で学習した語が分かるよう記	・第1学年では小・中接続単元 (P7-20)において、新しい仲間へのインタビュー等の英語によるやり取りや、英語の語順を理解する活動など、小学校での学習内容を踏まえた活動を設定している。・各学年巻末の「単語と熟語」(語彙リスト)の一覧には、小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、「小学校で学んだ単語」を一覧にして示している。	学校で学んだ語や表現を一覧に した「My Dictionary」を掲載して いる。Lesson 4までは小学校で 学んだ言語材料を振り返りな がら整理し、活用できるよう	(語彙リスト) には小学校で 学習した語が分かるよう記号 を付けている。また、本文の 各パート等においても、「小	形式にするなど、生徒が徐々に 英文に慣れていくよう構成している。また、巻末に小・中接続単元 で使われている語の一覧を掲載 している。 ・各学年の「Word List」(語彙リス	・第1学年では小・中接続単元 (P4-10)において、好きなものやできることをたずね合ったり、アルファベットを読み書きしたりするなど、小学校での学習内容を踏まえた活動を設定している。・各学年巻末の「Word List」(語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、小学校で学習した語を一覧にして示している。				
参	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり				
考	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり				

都.	D立										
	発行者の番号	2	9	15	17	38	61				
	略称	東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館				
	日本の文化・伝統を扱っている教材数	11	6	8	8	7	9				
	SDGsを扱っている教材数	16	17	10	14	10	13				
	ディスカッションやディベートについて記述し てある教材数	3	4	5	4	2	1				
内	「聞くこと」に焦点を当てた活動の数	55	171	176	109	192	202				
	「読むこと」に焦点を当てた活動の数	116	106	100	162	98	103				
容	「話すこと[やり取り]」に焦点を当てた活動の 数	90	106	75	85	109	132				
	「話すこと[発表]」に焦点を当てた活動の数	49	22	38	45	54	27				
	「書くこと」に焦点を当てた活動の数	73	94	84	36	86	109				
	複数の領域を統合したものに焦点を当てた 活動の数	9	9	9	9	9	32				
構成上	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫 (単元構成上の工夫等)	定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。 ・各単元末の「CHECK」(振り返りの視点を示したもの)、「Stage Activity」「に設定された「CAN DO	・各単元末の「できたかな? GOAL」(振り返りの視点を示した もの)、「Our Project」「に設定され た振り返り、巻末の「CAN-DOリ スト」により、生徒がC署の達成 状況を振り返り、把握できるよう	元末での自己表現活動となる「Goal Activity」の設定、複数単元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。・各単元末の「ふり返り」(振り返りの視点を示したもの)、	元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。	-各単元冒頭での目標(「Goal」) と単元の内容に関する「目的・場 面・状況」の提示、単元末での自 己表現活動となる「Goal」の活動 の設定、複数単元学習後の「You Can Do It!」(複数の領域を統合 した活動)の設定等当を進めら が見通しをもっている。 ・各単元末の「Goal ふり返り」(振 り返りの視点を示したもの)、 「You Can Do It!」に設定された 「Goal 学期のふり返り」、生徒が 学習の達成状況を振り返り、把 握できるよう工夫している。	(自己表現活動)の設定、複数単元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。・各単元末の「Check」(振り返り				
構成上の工夫	小学校外国語科との円滑な接続のための工 夫 (小学校で学習した語彙や表現の扱い 方等)	・第1学年では小・中接続単元を設定(P6-10)するとともに、Unit 4までは小学校の活動を振り返るとともに、小学校で聞いたり話したりした単語や表現が中心となっている。 ・各学年巻末の「Word List」(語彙リスト)には、小学校で学習した語が分かるよう記	・第1学年では小・中接続単元 (P7-20)において、新しい仲間へのインタビュー等の英語によるやり取りや、英語の語順を理解する活動など、小学校での学習内容を踏まえた活動を設定している。・各学年巻末の「単語と熟語」(語彙リスト)の一覧には、小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、「小学校で学んだ単語」を一覧にして示している。	学校で学んだ語や表現を一覧に した「My Dictionary」を掲載して いる。Lesson 4までは小学校で 学んだ言語材料を振り返りな がら整理し、活用できるよう	・第1学年では小・中接続単元 (P6-17)を設定するとともに、 Lesson 2までは小学校で学んだ表現を多く使用している。 ・各学年巻末の「Word List」 (語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号 を付けている。また、本文の 各パート等においても、「小学校の発信語」を一覧にして 示している。	・第1学年では小・中接続単元 (P6-19)を設定するとともに、Unit 3までは本文を漫画のセリフ 形式にするなど、生徒が徐々に 英文に慣れていくよう構成している。また、巻末に小・中接続単元で使われている語の一覧を掲載している。・各学年の「Word List」(語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、小学校で学習した語には記号を付けて示している。	・第1学年では小・中接続単元 (P4-10)において、好きなものやできることをたずね合ったり、アルファベットを読み書きしたりするなど、小学校での学習内容を踏まえた活動を設定している。・各学年巻末の「Word List」(語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、小学校で学習した語を一覧にして示している。				
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり				
有	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり				

者	3立 立川国際中等教育学校 英語  採択資料											
	発行者の番号	2	9	15	17	38	61					
	略称	東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館					
	SDGsを扱っている教材数	16	17	10	14	10	13					
	海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	9	1	3	1	3	8					
	ディスカッションやディベートについて記述し てある教材数	3	4	5	4	2	1					
Þ	「聞くこと」に焦点を当てた活動の数	55	171	176	109	192	202					
	「読むこと」に焦点を当てた活動の数	116	106	100	162	98	103					
2	「話すこと[やり取り]」に焦点を当てた活動の数	90	106	75	85	109	132					
	「話すこと[発表]」に焦点を当てた活動の数	49	22	38	45	54	27					
	「書くこと」に焦点を当てた活動の数	73	94	84	36	86	109					
	複数の領域を統合したものに焦点を当てた 活動の数	9	9	9	9	9	32					
村 月 <i>0</i>	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫 (単元構成上の工夫等)	の視点を示したもの)、「Stage Activity」に設定された「CAN DO CHECK」振り返り、巻末の「CAN-	設定、複数単元学習後の「Our Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。・各単元末の「できたかな?GOAL」(振り返りの視点を示したもの)、「Our Project」」に設定された振り返り、巻末の「CAN-DOリスト」により、生徒が学習の達成	元末での自己表現活動となる「Goal Activity」の設定、複数単元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。・各単元末の「ふり返り」(振り返りの視点を示したもの)、	・各単元冒頭での目標(「Goal」)の提示、単元末での自己表現活動となる「Task」の設定、複数単元学習後の「Project」(複数単領域を統合した活動)の設定ででは、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。・各単元末の「Lesson~をふり返ろう」(振り返りの視点を示したもの)、「Project~をふり返ろう」、巻末の「Can-Do 自己チェックリスト」により、生徒が学習の達成状況を振り返り、把握できるよう工夫している。	-各単元冒頭での目標(「Goal」) と単元の内容に関する「目的・場 可・状況」の提示、単元不での自 己表現活動となる「Goal」の活動 の設定、複数単元学習後の「You Can Do It!」(複数の領域を統合 した活動)の設定等智を進められるよう工夫している。 ・各単元末の「Goal ふり返り」(振り返りの視点を示したもの)、「You Can Do It!」に設定された「Goal 学期のふり返り」、巻徒が学習の達成状況を振り返り、生徒が学習の達成状況を振り返り、把握できるよう工夫している。	(自己表現活動)の設定、複数単元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。・各単元末の「Check」(振り返り					
30 3 3		・第1学年では小・中接続単元を設定(P6-10)するとともに、Unit 4までは小学校の活動を振り返るとともに、小学校で聞いたり話したりした単語や表現が中心となっている。 ・各学年巻末の「Word List」	る活動など、小学校での学習内容を踏まえた活動を設定している。 ・各学年巻末の「単語と熟語」(語彙リスト)の一覧には、小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、「小学校で学ん	した「My Dictionary」を掲載している。Lesson 4までは小学校で学んだ言語材料を振り返りながら整理し、活用できるようにしている。	・第1学年では小・中接続単元 (P6-17)を設定するとともに、 Lesson 2までは小学校で学んだ表現を多く使用している。 ・各学年巻末の「Word List」 (語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、「小学校の発信語」を一覧にして示している。		・第1学年では小・中接続単元 (P4-10)において、好きなものやできることをたずね合ったり、アルファベットを読み書きしたりするなど、小学校での学習内容を踏まえた活動を設定している。・各学年巻末の「Word List」(語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、小学校で学習した語を一覧にして示している。					
***	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり					
[≉	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり					

都	D立 武蔵高等学校附属中学校 英語  採択資料										
	発行者の番号	2	9	15	17	38	61				
	略称	東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館				
	SDGsを扱っている教材数	16	17	10	14	10	13				
	海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	9	1	3	1	3	8				
	ディスカッションやディベートについて記述し てある教材数	3	4	5	4	2	1				
内	「聞くこと」に焦点を当てた活動の数	55	171	176	109	192	202				
	「読むこと」に焦点を当てた活動の数	116	106	100	162	98	103				
容	「話すこと[やり取り]」に焦点を当てた活動の 数	90	106	75	85	109	132				
	「話すこと[発表]」に焦点を当てた活動の数	49	22	38	45	54	27				
	「書くこと」に焦点を当てた活動の数	73	94	84	36	86	109				
	複数の領域を統合したものに焦点を当てた 活動の数	9	9	9	9	9	32				
構成上	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫 (単元構成上の工夫等)	定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。 ・各単元末の「CHECK」(振り返りの視点を示したもの)、「Stage Activity」に設定された「CAN DO	・各単元末の「できたかな? GOAL」(振り返りの視点を示した もの)、「Our Project」「に設定され た振り返り、巻末の「CAN-DOリ スト」により、生徒がC署の達成 状況を振り返り、把握できるよう	元末での自己表現活動となる「Goal Activity」の設定、複数単元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。・各単元末の「ふり返り」(振り返りの視点を示したもの)、	元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。	・各単元冒頭での目標(「Goal」)と単元の内容に関する「目的・場面・状況」の提示、単元不での自己表現活動となる「Goal」の活動の設定、複数単元学習後の「You Can Do It!」(複数の領域を統合した活動)の設定等官を進められるよう工夫している。・各単元末の「Goal ふり返り」(振り返りの視点を示したもの)、「You Can Do It!」に設定された「Goal 学期のふり返り」、巻末の「CAN-DO List」により、生徒が学習の達成状況を振り返り、把握できるよう工夫している。	(自己表現活動)の設定、複数単元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。・各単元末の「Check」(振り返り				
構成上の工夫	小学校外国語科との円滑な接続のための工 夫 (小学校で学習した語彙や表現の扱い 方等)	・第1学年では小・中接続単元を設定(P6-10)するとともに、Unit 4までは小学校の活動を振り返るとともに、小学校で聞いたり話したりした単語や表現が中心となっている。 ・各学年巻末の「Word List」(語彙リスト)には、小学校で学習した語が分かるよう記	・第1学年では小・中接続単元 (P7-20)において、新しい仲間へのインタビュー等の英語によるやり取りや、英語の語順を理解する活動など、小学校での学習内容を踏まえた活動を設定している。・各学年巻末の「単語と熟語」(語彙リスト)の一覧には、小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、「小学校で学んだ単語」を一覧にして示している。	学校で学んだ語や表現を一覧に した「My Dictionary」を掲載して いる。Lesson 4までは小学校で 学んだ言語材料を振り返りな がら整理し、活用できるよう	表現を多く使用している。 ・各学年巻末の「Word List」 (語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、「小	・第1学年では小・中接続単元 (P6-19)を設定するとともに、Unit 3までは本文を漫画のセリフ 形式にするなど、生徒が徐々に 英文に慣れていくよう構成している。また、巻末に小・中接続単元で使われている語の一覧を掲載している。・各学年の「Word List」(語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、小学校で学習した語には記号を付けて示している。	・第1学年では小・中接続単元 (P4-10)において、好きなものやできることをたずね合ったり、アルファベットを読み書きしたりするなど、小学校での学習内容を踏まえた活動を設定している。・各学年巻末の「Word List」(語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、小学校で学習した語を一覧にして示している。				
参	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり				
考	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり				

都	邓立 富士高等学校附属中学校 英語  採択資料										
	発行者の番号	2	9	15	17	38	61				
	略称	東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館				
	海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	9	1	3	1	3	8				
	自然・科学、環境を扱っている教材数	5	12	3	7	3	8				
	ディスカッションやディベートについて記述し てある教材数	3	4	5	4	2	1				
内	「聞くこと」に焦点を当てた活動の数	55	171	176	109	192	202				
	「読むこと」に焦点を当てた活動の数	116	106	100	162	98	103				
容	「話すこと[やり取り]」に焦点を当てた活動の 数	90	106	75	85	109	132				
	「話すこと[発表]」に焦点を当てた活動の数	49	22	38	45	54	27				
	「書くこと」に焦点を当てた活動の数	73	94	84	36	86	109				
	複数の領域を統合したものに焦点を当てた 活動の数	9	9	9	9	9	32				
構成上の工夫	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫 (単元構成上の工夫等)	定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。 ・各単元末の「CHECK」(振り返り の視点を示したもの)、「Stage Activity」「に設定された「CAN DO	・各単元末の「できたかな? GOAL」(振り返りの視点を示した もの)、「Our Project」「に設定され た振り返り、巻末の「CAN-DOリ スト」「こより、生徒がC署の達成 状況を振り返り、把握できるよう	元末での自己表現活動となる「Goal Activity」の設定、複数単元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。・各単元末の「ふり返り」(振り返りの視点を示したもの)、	元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。	・各単元冒頭での目標(「Goal」)と単元の内容に関する「目的・場面・状況」の提示、単元不下の自己表現活動となる「Goal」の活動の設定、複数単元学習後の「You Can Do It!」(複数の領域を統合した活動)の設定等官を進められるよう工夫している。・各単元末の「Goal ふり返り」(振り返りの視点を示したもの)、「You Can Do It!」に設定された「Goal 学期のふり返り」、巻末の「CAN-DO List」により、生徒が学習の達成状況を振り返り、把握できるよう工夫している。	(自己表現活動)の設定、複数単元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。・各単元末の「Check」(振り返り				
の工夫	小学校外国語科との円滑な接続のための工 夫 (小学校で学習した語彙や表現の扱い 方等)	・各学年巻末の「Word List」 (語彙リスト)には、小学校 で学習した語が分かるよう記	・第1学年では小・中接続単元 (P7-20)において、新しい仲間へのインタビュー等の英語によるやり取りや、英語の語順を理解する活動など、小学校での学習内容を踏まえた活動を設定している。・各学年巻末の「単語と熟語」(語彙リスト)の一覧には、小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、「小学校で学んだ単語」を一覧にして示している。	学校で学んだ語や表現を一覧に した「My Dictionary」を掲載して いる。Lesson 4までは小学校で 学んだ言語材料を振り返りな がら整理し、活用できるよう	表現を多く使用している。 ・各学年巻末の「Word List」 (語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、「小	・第1学年では小・中接続単元 (P6-19)を設定するとともに、Unit 3までは本文を漫画のセリフ 形式にするなど、生徒が徐々に 英文に慣れていくよう構成している。また、巻末に小・中接続単元で使われている語の一覧を掲載している。・各学年の「Word List」(語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、小学校で学習した語には記号を付けて示している。	・第1学年では小・中接続単元 (P4-10)において、好きなものやできることをたずね合ったり、アルファベットを読み書きしたりするなど、小学校での学習内容を踏まえた活動を設定している。・各学年巻末の「Word List」(語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、小学校で学習した語を一覧にして示している。				
参	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり				
考	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり				

都	D立 大泉高等学校附属中学校 英語  採択資料										
	発行者の番号	2	9	15	17	38	61				
	略称	東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館				
	日本の文化・伝統を扱っている教材数	11	6	8	8	7	9				
	海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	9	1	3	1	3	8				
	ディスカッションやディベートについて記述し てある教材数	3	4	5	4	2	1				
内	「聞くこと」に焦点を当てた活動の数	55	171	176	109	192	202				
	「読むこと」に焦点を当てた活動の数	116	106	100	162	98	103				
容	「話すこと[やり取り]」に焦点を当てた活動の 数	90	106	75	85	109	132				
	「話すこと[発表]」に焦点を当てた活動の数	49	22	38	45	54	27				
	「書くこと」に焦点を当てた活動の数	73	94	84	36	86	109				
	複数の領域を統合したものに焦点を当てた 活動の数	9	9	9	9	9	32				
構成上	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫 (単元構成上の工夫等)	定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。 ・各単元末の「CHECK」(振り返りの視点を示したもの)、「Stage Activity」に設定された「CAN DO	・各単元末の「できたかな? GOAL」(振り返りの視点を示した もの)、「Our Project」「に設定され た振り返り、巻末の「CAN-DOリ スト」により、生徒がC署の達成 状況を振り返り、把握できるよう	元末での自己表現活動となる「Goal Activity」の設定、複数単元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。・各単元末の「ふり返り」(振り返りの視点を示したもの)、	元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。	Can Do It!」(複数の領域を統合 した活動)の設定等により、生徒 が見通しをもって学習を進められ るよう工夫している。	(自己表現活動)の設定、複数単元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。・各単元末の「Check」(振り返り				
構成上の工夫	小学校外国語科との円滑な接続のための工夫 (小学校で学習した語彙や表現の扱い方等)	・第1学年では小・中接続単元を設定(P6-10)するとともに、Unit 4までは小学校の活動を振り返るとともに、小学校で聞いたり話したりした単語や表現が中心となっている。 ・各学年巻末の「Word List」(語彙リスト)には、小学校で学習した語が分かるよう記	・第1学年では小・中接続単元 (P7-20)において、新しい仲間へのインタビュー等の英語によるやり取りや、英語の語順を理解する活動など、小学校での学習内容を踏まえた活動を設定している。・各学年巻末の「単語と熟語」(語彙リスト)の一覧には、小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、「小学校で学んだ単語」を一覧にして示している。	学校で学んだ語や表現を一覧に した「My Dictionary」を掲載して いる。Lesson 4までは小学校で 学んだ言語材料を振り返りな がら整理し、活用できるよう	・第1学年では小・中接続単元 (P6-17)を設定するとともに、 Lesson 2までは小学校で学んだ表現を多く使用している。 ・各学年巻末の「Word List」 (語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号 を付けている。また、本文の 各パート等においても、「小学校の発信語」を一覧にして 示している。	形式にするなど、生徒が徐々に 英文に慣れていくよう構成している。また、巻末に小・中接続単元 で使われている語の一覧を掲載 している。 ・各学年の「Word List」(語彙リス	・第1学年では小・中接続単元 (P4-10)において、好きなものやできることをたずね合ったり、アルファベットを読み書きしたりするなど、小学校での学習内容を踏まえた活動を設定している。・各学年巻末の「Word List」(語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各バート等においても、小学校で学習した語を一覧にして示している。				
参	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり				
考	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり				

都:	立 南多摩中等教育学校 英語 採択資料						
	発行者の番号 略 称	2 東書	9 開隆堂	15 三省堂	17 教出	38 光村	61 啓林館
	SDGsを扱っている教材数	16	17	10	14	10	13
	海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	9	1	3	1	3	8
	ディスカッションやディベートについて記述し てある教材数	3	4	5	4	2	1
内	「聞くこと」に焦点を当てた活動の数	55	171	176	109	192	202
	「読むこと」に焦点を当てた活動の数	116	106	100	162	98	103
容	「話すこと[やり取り]」に焦点を当てた活動の数	90	106	75	85	109	132
	「話すこと[発表]」に焦点を当てた活動の数	49	22	38	45	54	27
	「書くこと」に焦点を当てた活動の数	73	94	84	36	86	109
	複数の領域を統合したものに焦点を当てた 活動の数	9	9	9 ・各単元冒頭での目標となる活	9	9	32
構成上	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫 (単元構成上の工夫等)	の視点を示したもの)、「Stage Activity」に設定された「CAN DO	活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。 ・各単元末の「できたかな? GOAL」(振り返りの視点を示したもの)、「Our Project」に設定された振り返り、巻末の「CAN-DOリスト」により、生徒が学習の達成状況を振り返り、推握できるよう	元末での自己表現活動となる「Goal Activity」の設定、複数単元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。・各単元末の「ふり返り」(振り返りの視点を示したもの)、	元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。・各単元末の「Lesson ~をふり返ろう」(振り返りの視点を示したもの)、「Project ~をふり返ろう」、参末の「Can-Do 自己チェックリスト」により、生徒が学習の達成状況を振り返り、把握できるよう工夫している。	己表現活動となる「Goal」の活動の設定、複数単元学習後の「You Can Do It!」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。	域を統合した活動)の設定等に より、生徒が見通しをもって学習
構成上の工夫	小学校外国語科との円滑な接続のための工 夫 (小学校で学習した語彙や表現の扱い 方等)	るとともに、小学校で聞いたり話したりした単語や表現が中心となっている。 ・各学年巻末の「Word List」(語彙リスト)には、小学校で学習した語が分かるよう記	・第1学年では小・中接続単元 (P7-20)において、新しい仲間へのインタビュー等の英語によるやり取りや、英語の語順を理解する活動など、小学校での学習内容を踏まえた活動を設定している。・各学年巻末の「単語と熟語」(語彙リスト)の一覧には、小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、「小学校で学んだ単語」を一覧にして示している。	した「My Dictionary」を掲載している。Lesson 4までは小学校で学んだ言語材料を振り返りながら整理し、活用できるよう	(語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、「小学校の発信語」を一覧にして示している。	形式にするなど、生徒が徐々に 英文に慣れていくよう構成してい る。また、巻末に小・中接続単元 で使われている語の一覧を掲載 している。	・第1学年では小・中接続単元 (P4-10)において、好きなものやできることをたずね合ったり、アルファベットを読み書きしたりするなど、小学校での学習内容を踏まえた活動を設定している。・各学年巻末の「Word List」(語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、小学校で学習した語を一覧にして示している。
参	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
考	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり

都:	D立 三鷹中等教育学校 英語  採択資料										
	発行者の番号	2	9	15	17	38	61				
	略称	東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館				
	日本の文化・伝統を扱っている教材数	11	6	8	8	7	9				
	SDGsを扱っている教材数	16	17	10	14	10	13				
	海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	9	1	3	1	3	8				
内	「聞くこと」に焦点を当てた活動の数	55	171	176	109	192	202				
	「読むこと」に焦点を当てた活動の数	116	106	100	162	98	103				
容	「話すこと[やり取り]」に焦点を当てた活動の数	90	106	75	85	109	132				
	「話すこと[発表]」に焦点を当てた活動の数	49	22	38	45	54	27				
	「書くこと」に焦点を当てた活動の数	73	94	84	36	86	109				
	複数の領域を統合したものに焦点を当てた 活動の数	9	9	9	9	9	32				
構成上	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫 (単元構成上の工夫等)	定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。 ・各単元末の「CHECK」(振り返りの視点を示したもの)、「Stage Activity」「に設定された「CAN DO	・各単元末の「できたかな? GOAL」(振り返りの視点を示した もの)、「Our Project」「に設定され た振り返り、巻末の「CAN-DOリ スト」により、生徒が学習の達成 状況を振り返り、把握できるよう	元末での自己表現活動となる「Goal Activity」の設定、複数単元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。・各単元末の「ふり返り」(振り返りの視点を示したもの)、「Project」に設定された「ふり返り」、巻末の「What Can I Do?」(Can-Doリスト)により、生徒が学	元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。・各単元末の「Lesson ~をふり返ろう」(振り返りの視点を示したもの)、「Project」に設定された「Project ~をふり返ろう」、参末の「Can-Do 自己チェックリスト」により、生徒が学習の達成状況を振り返り、把握できるよう工夫している。	-各単元冒頭での目標(「Goal」) と単元の内容に関する「目的・場 面・状況」の提示、単元末での自 己表現活動となる「Goal」の活動 の設定、複数単元学習後の「You Can Do It!」(複数の領域を統合 した活動)の設定等当を進めら が見通しをもっている。 ・各単元末の「Goal ふり返り」(振 り返りの視点を示したもの)、 「You Can Do It!」に設定された 「Goal 学期のふり返り」、生徒が 学習の達成状況を振り返り、把 握できるよう工夫している。	域を統合した活動)の設定等に より、生徒が見通しをもって学習				
構成上の工夫	小学校外国語科との円滑な接続のための工夫 (小学校で学習した語彙や表現の扱い方等)	・第1学年では小・中接続単元を設定(P6-10)するとともに、Unit 4までは小学校の活動を振り返るとともに、小学校で聞いたり話したりした単語や表現が中心となっている。 ・各学年巻末の「Word List」(語彙リスト)には、小学校で学習した語が分かるよう記	容を踏まえた活動を設定している。 ・各学年巻末の「単語と熟語」(語彙リスト)の一覧には、小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、「小学校で学ん	した「My Dictionary」を掲載している。Lesson 4までは小学校で学んだ言語材料を振り返りながら整理し、活用できるよう	(語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、「小学校の発信語」を一覧にして示している。	・第1学年では小・中接続単元 (P6-19)を設定するとともに、Unit 3までは本文を漫画のセリフ 形式にするなど、生徒が徐々に 英文に慣れていくよう構成している。また、巻末に小・中接続単元で使われている語の一覧を掲載している。・各学年の「Word List」(語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、小学校で学習した語には記号を付けて示している。	・第1学年では小・中接続単元 (P4-10)において、好きなものやできることをたずね合ったり、アルファベットを読み書きしたりするなど、小学校での学習内容を踏まえた活動を設定している。・各学年巻末の「Word List」(語彙リスト)には小学校で学習した語が分かるよう記号を付けている。また、本文の各パート等においても、小学校で学習した語を一覧にして示している。				
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり				
有	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり				

#### 「別紙」【(2)構成上の工夫】 英語

#### ア デジタル教科書の扱い

発行者	取り上げられた単元名(学年)	a 拡大機能	b 音声機能 ※1	c 動画機能 ※2	d 書き込み機能	e 保存機能	備考
東書	Unit 2 What is local food?	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ※3 ・読み上げ機能有 ※4 ・デジタル用例辞典収録
開隆堂	PROGRAM 3 Taste of Culture	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有
三省堂	Lesson 5 Visiting Australia	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有 ・辞書機能有
教 出	Lesson 3 Design Makes Change	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有 ・録音・再生機能有 ※5
光村	Unit 7 Working Together	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有 ・録音・再生機能有
啓林館	Unit 2 Festivals in the World	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有

- ※1 「b 音声機能」では、教科書の本文や活動例、歌やチャンツ等の音声を聞くことが可能かを調査している。
- ※2 「c 動画機能」では、活動例や学習の参考となる情報を、アニメーションや実写映像等で視聴することが可能かを調査している。
- ※3 「単語・文の個別再生機能」とは、教科書に記載されている英語の単語や文を個別に選択(タッチ)すると、その単語・文のみを再生する機能である。
- ※4 「読み上げ機能」とは、教科書に記載されている文章(日本語、英語を含む。)を、音声で読み上げる機能のことである。
- ※5 「録音・再生機能」とは、児童が自分の音声を録音・再生することができる機能のことである。

令和7~10年度使用

都立特別支援学校(中学部)用 教科 書採 択 資料

(文部科学省検定済教科書)

令和6年7月 東京都教育委員会

# 英 語

	発行者		教科書の記号・番号	判型	検定済年
番号	名称	略称	教科者の記方・番号	総ページ数	快化併十
2	東京書籍	東書◆	英語 002-72・002-82・002-92	A 4	
	AND EAST	л	XIII 001 11 001 01 01	486	
9	開隆堂出版	開隆堂◆	英語 009-72・009-82・009-92	A 4	
3	州性至山瓜	州性至▼	关品 003 12 003 02 003 32	514	
15	三省堂	三省堂◆	英語 015-72・015-82・015-92	A 4	
10	一日五	—日 <b>王</b> ▼	大品 010 12 010 02 010 02	532	令和6年
17	教育出版 教 出◀	教 出◆	英語 017-72・017-82・017-92	АВ	11 44 0 +
11	教育山/成	<b>秋</b> 山▼	大品 011 12 011 02 011 02	546	
38	   光村図書出版	光 村◆	英語 038-72・038-82・038-92	АВ	
30	九竹囚音山版	<i>J</i> L 111 ▼	突出 000 12 000 02 000 02	582	
61	新興出版社	改夶館▲	英語 061-72・061-82・061-92	A 4	
01	啓林館	大田 001 12 001 02 001 92	490		

<sup>※「</sup>発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」(学校教育法第34条第2項に規定する教材)の発行予定があることを示しています。

#### 中学部 英語(聴覚障害特別支援学校)

は、認知の集神を手機に動いている。(PS)   22種目の出いて、対象が影響を		子即 央語(概見學音符別文接子校) 発行者	東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館
1分類 所の担席を参加に大き乗や機能			27箇所	39箇所	19箇所	33箇所	27箇所	15箇所
5   20   20   20   20   20   20   20		①視覚的な方法等を活用して、作業や体験等 の学習活動が工夫できるもの。	は、感謝の気持ちを手紙に書いて 伝える活動を示している。(P57)	中から、出題された物を見つけて個数を書く活動を示している。 (P34) ②3年「Sign Languages, Not Just Gestures!」では、日本とアメリカの手話について記述している。	外からの旅行者に紹介したい商品の説明を考える活動を示している。(P95) ②該当なし	は、自分の好きなものを、SNSの 投稿記事にまとめる活動を示して いる。(P67) ②2年「Assistance Dogs」では、補 助犬の紹介の中で聴導犬につい	ンツアーの案内を読み、参加した いツアーを友達と考える活動を示 している。(P88-89) ②2年「You Can Do It!」では、手話 も国や地域によって異なることに	
で聴覚の障害を補えるように、概要や手順を写真により 真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②聴覚の障害による誘解への配慮として、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に 上 の エ 夫		①音声を聞き分けて答える活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。 ②電話やインタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際に配慮が必要であるもの。	①3年「テレビの国際ニュース」では、英語のニュース番組を聞いて内容を聞き取り、設問に答える活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P85) ②1年「An Online Tour of the U.K.」では、ペアになった相手に電話で状況を尋ねる活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。	①1年「インタビューを聞こう」では、ラジオのインタビュー番組を聞き、設問に答える活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P122) ②2年「電話をかけよう」では、ペアになった相手に、電話で情報を伝える活動があり、取り扱う際に	①3年「バスのアナウンス」では、 観光バス車内のアナウンスから必要な情報を聞き取る活動があり、 取り扱う際には配慮が必要である。(P53) ②3年「電話でのお誘い」では、ペ アになった相手に、電話でコン サートに誘う活動があり、取り扱う	①1年「School Life in Two Countries」では、絵の中にあるも のの名前を聞き取る活動があり、 取り扱う際には配慮が必要であ る。(P83) ②3年「Useful Expressions①」では、ペアになった相手を、電話で 映画に誘う活動があり、取り扱う	①2年「Daily Life」では、空港や航空機内でのアナウンスから必要な情報を聞き取る活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P40) ②3年「Our School Trip」では、ペアになった相手からの誘いの電話を断る活動があり、取り扱う際に	①2年「Preparing for Natural Disasters」では、ラジオ番組から 防災バックに入れる物を聞き取る 活動があり、取り扱う際には配慮 が必要である。(P57)  ②1年「お願い」では、ペアになっ
	上のエ	①聴覚の障害を補えるように、概要や手順を写 真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②聴覚の障害による読解への配慮として、学習 のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に	時代とともに進化してきた時間の計測方法を、イラストや写真により視覚的に説明している。(P44-47) ②パートごとに、表現や文法のポイントを背景に色を着けて記して	号の構造や事故が発生した個所を、解説を添えたイラストにより、 視覚的に説明している。(P125) ②各章の冒頭に、学習課題を背景に色を着けて記している。(1年	前置詞の種類と使い方を、イラストを用いた図により、視覚的に説明している。(P96) ②パートごとに、表現や文法のポイントを、枠囲みで記している。(1	Penguins」では、ペンギンの身体 の構造などを写真や図により、視 覚的に説明している。(P47-49) ②パートごとに、本文の読解のポ イントを、Checkと見出しを付して	肯定文、疑問文などにおける主語、動詞、助動詞の語順を、色分けして視覚的に説明している。(P56-57) ②パートごとに、学習する基本的な文と解説を、枠囲みで記してい	(P61) ②パートごとに、文法のポイントを 背景に色を着けて記している。(1
	参	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり

#### 中学部 英語(肢体不自由・病弱特別支援学校)

	二部 央語(胶体小目田·病物特別文 発行者	東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館
	肢体不自由・病弱のある生徒が興味・関心を	41箇所	34箇所	41箇所	30箇所	42箇所	49箇所
	2)肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの。	ラスメートに自己紹介をする活動があり、学習の内容がイメージしやすい。(P11-17)  ②2年「What design is good for everyone?」では、肢体不自由者であるロナルド・メイス氏について記	動があり、学習の内容がイメージ しやすい。(P59) ②3年「パラリンピック、ここに注 目!」では、パラスポーツ独自の 競技のルールや特徴について記	①3年「For Our Future」では、中学校生活の思い出や卒業後について考える活動があり、学習の内容がイメージしやすい。(P95-99) ②1年「Athletes with Spirit」では、東いすバスケットボールの選手について記述している。(P91-95)	る活動があり、学習の内容がイメージしやすい。(P97) ②2年「Design Makes Change」では、駅のホームと車両乗降口の隙間を狭くする工夫について記述し	物が車いすテニスに取り組んでいることについて記述している。	①2年「Let's Listen 1」では、天気 予報について必要な情報を聞き取 る活動があり、学習の内容がイ メージしやすい。(P16) ②3年「Society for All」では、車い すの方がバスに乗り込む写真とと もにユニバーサルデザインについ
内容		がしている。(P64) がしている。(P64)	が良いる。(P40-41) 述している。(P40-41)	2箇所	間でが、する上人について記述している。(P39)	3(P72-79) 3簡所	で記述している。(P61)
	いて						
	到に公乗が応たされるもの。 ②発音練習等の、音声の違いを的確に表現する活動があり、学習時に配慮が必要となるもの。	を作る活動があり、取り扱う際に は配慮が必要である。(P10)	①1年「発表上手になろう」では、 相手に伝えたいことをジェスチャー で表現する活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P28) ②1年「英語の音声」では、舌の位置に注意して発音する活動があり、学習時に配慮が必要である。 (P152)	を調べる活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P33) ②1年「Sounds」では、母音や子音を意識して発音する活動があり、	辞典を使って単語の意味を調べる 活動があり、取り扱う際には配慮 が必要である。(P19)	取り扱う際には配慮が必要である。(P87) ②1年「Sounds and Letters」では、母音の音の違いに注意して、	①1年「英語の学び方①」では、英和辞典を使って単語の意味を調べる活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P29) ②1年「英語の学び方②」では、母音が入らないように連続して子音を発音する活動があり、学習時に配慮が必要である。(P100)
構成上の工夫	記されていたりするもの。 ②体験の不足を補えるように、写真、図表等で 視覚的に説明されているもの。	ど) ②2年「What are World Heritege sites and their problems?」では、 富士山が抱える問題や現在の状	(1年P21、P27など) ②3年「The Great Pacific Garbage Patch」では、海洋ごみの写真を示		②2年「Design Makes Change」では、ユニバーサルデザインの自動	①各単元の冒頭に学習課題、最後に学習の振り返りを記している。(3年P9、P17など) ②2年「How Do We Stay Safe?」では、非常用持出品の写真を示した上で、災害時に必要な物について考えるようにしている。(P59-67)	シカの踏切や魚道などの写真を示
参	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
考	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり

#### 「別紙」【(2)構成上の工夫】 英語

#### ア デジタル教科書の扱い

発行者	取り上げられた単元名(学年)	a 拡大機能	b 音声機能 ※1	c 動画機能 ※2	d 書き込み機能	e 保存機能	備考
東書	Unit 2 What is local food?	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ※3 ・読み上げ機能有 ※4 ・デジタル用例辞典収録
開隆堂	PROGRAM 3 Taste of Culture	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有
三省堂	Lesson 5 Visiting Australia	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有 ・辞書機能有
教 出	Lesson 3 Design Makes Change	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有 ・録音・再生機能有 ※5
光村	Unit 7 Working Together	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有 ・録音・再生機能有
啓林館	Unit 2 Festivals in the World	有	有	有	有	有	・単語・文の個別再生機能有 ・読み上げ機能有

- ※1 「b 音声機能」では、教科書の本文や活動例、歌やチャンツ等の音声を聞くことが可能かを調査している。
- ※2 「c 動画機能」では、活動例や学習の参考となる情報を、アニメーションや実写映像等で視聴することが可能かを調査している。
- ※3 「単語・文の個別再生機能」とは、教科書に記載されている英語の単語や文を個別に選択(タッチ)すると、その単語・文のみを再生する機能である。
- ※4 「読み上げ機能」とは、教科書に記載されている文章(日本語、英語を含む。)を、音声で読み上げる機能のことである。
- ※5 「録音・再生機能」とは、児童が自分の音声を録音・再生することができる機能のことである。